医薬品適正使用啓発事業
漢方薬に関するアンケート調査報告書

平成２５年３月

社団法人　神奈川県薬剤師会
医薬品適正使用調査委員会

医薬品適正使用啓発事業　漢方薬についてのアンケート調査

社団法人神奈川県薬剤師会　医薬品適正使用調査委員会

１、調査研究目的

県民に対して、漢方薬についてのアンケート調査を実施し、その結果を集計、解析することにより医薬品適正使用に係る問題点を把握するとともに、課題などを明らかにすることにより、今後の啓発活動の方向性等を検討する。また、県民に信頼されるかかりつけ薬局・薬剤師となる施策の検討に資するものとする。

２、アンケート調査及び調査方法

本調査では、以下の調査を実施した。

漢方薬についてのアンケート調査票－資料１

・対象：一般県民

・調査期間：平成 24 年 10 月

・調査回収件数：1,511 件

３、調査研究成果と考察

（1）漢方薬についてのアンケート調査結果報告－資料２

（2）漢方薬についてのアンケート調査結果　興味別集計－参考資料１

（3）漢方薬についてのアンケート調査結果　年齢別集計－参考資料２

４、まとめ（今後の方針）

７１ページ参照

５、調査研究発表

・神奈川県薬剤師会のホームページに等に掲載予定

６、調査協力団体及びイベント

No.	団体及びイベント	件数	比率
1	日本チェーンドラッグストア協会	483	32.0%
2	2012 薬と健康すこやかフェア	297	19.7%
3	日本専門薬局同志会	268	17.7%
4	神奈川県消費者の会連絡会	195	12.9%
5	神奈川県病院薬剤師会	168	11.1%
6	くすりと健康すこやかフェアかわさき	100	6.6%
	有効回答者数	1511	100.0%

漢方薬についてのアンケート調査

あなたのご協力をお願い申し上げます！

このアンケート調査は神奈川県の補助を受けて、神奈川県薬剤師会が実施するものです。アンケートの回答は統計的に処理しますので、あなたの個人情報が漏れることはありません。
また、アンケート調査結果は今後より良い医薬品の使用や健康情報の提供を行うときの参考にするとともに、学会などで発表して社会のために役立てます。
どうぞご安心の上、このアンケート調査にご協力下さるようお願い致します。

★ **ご回答はとくにことわりのあるもの以外、最もよくあてはまるもの1つに○印をつけて下さい。**

Q1. 漢方薬について、興味や関心がありますか？
1. ある
2. どちらともいえない
3. ない

Q2. 漢方薬の良い点・良いイメージは何だと思いますか？
（あてはまる番号すべてに○印をつけて下さい）
1. 天然・自然の材料を使っていること
2. 比較的副作用が少ないこと
3. 薬の効き目が穏やかなこと
4. 病気を治すだけでなく、体質そのものを改善すること
5. 昔から親しんできたなじみ深い医薬品であること
6. 使用（服用）した人から良い評判を聞くこと
7. 気軽に使用できること
8. 薬の味や使用感が良いこと
9. 漢方薬は個人の体質にあわせて使用されるものであること
10. その他（　　）

Q3. 漢方薬の悪い点・悪いイメージは何だと思いますか？
（あてはまる番号すべてに○印をつけて下さい）
1. 効果が現れるのが遅いこと（長期間使用（服用）しなければ効果が現れないこと）
2. 薬の効き目が弱いこと
3. 値段が高いこと
4. 薬剤師などの専門家でないと、どの薬を使って良いかわかりにくいこと
5. 身近に漢方薬について気軽に相談できる専門家がいないこと
6. 薬の味や使用感が悪いこと
7. 煎じ薬は煎じるのが面倒なこと
8. 使用（服用）した人から良い評判を聞かないこと
9. 漢方薬は個人の体質にあわせて使用されるので、専門的知識が必要で難しいこと
10. その他（　　）

★★★次ページの質問にもお答えください★★★

Q4. 漢方薬を服用したり、使ったりしたことはありますか？
1. ある　→Q5にお進み下さい
2. ない　→Q11にお進み下さい

Q5. Q4で『1. ある』とお答えになった方へ：
お使いになった漢方薬はどのようなものですか？
1. 煎じ薬（水で煎じて服用するもの）
2. エキス製剤（漢方薬のエキスを顆粒剤や錠剤などにしたもの）
3. 1と2の両方
4. その他（具体的にお書き下さい　　）

Q6. Q4で『1. ある』とお答えになった方へ：
その漢方薬はどのようにして入手しましたか？
1. 病院・医院などで出されたもの、あるいは薬局で処方せんにより薬局で調剤してもらったもの
2. 薬局・ドラッグストアで買ったもの、あるいは作ってもらったもの
3. 1と2の両方

Q7. Q6 で『1.病院・医院』とお答えになった方へ：
・どんな病気・症状で、どのような漢方薬を調剤してもらいましたか？
（最もよく使用するもの2種類をお答えください。）

区分	1番よく使用するもの	2番目によく使用するもの
《病気・症状》		
《漢方薬名》		
《効果》 ○をつけてください	効いた・変化がなかった・効果なし	効いた・変化がなかった・効果なし

Q8. Q6 で『2.薬局・ドラッグストア』とお答えになった方へ：
（最もよく使用するもの2種類をお答えください。）

区分	1番よく使用するもの	2番目によく使用するもの
《病気・症状》		
《漢方薬名》		
《効果》 ○をつけてください	効いた・変化がなかった・効果なし	効いた・変化がなかった・効果なし

Q9 Q6 で『2. 薬局・ドラッグストア』又は『3. 1と2の両方』とお答えになった方へ：
その漢方薬を選定した理由は何ですか？
1. 薬剤師に相談して購入
2. 登録販売者に相談して購入
3. 外箱の説明書きから選んだ
4. 知人の推奨
5. インターネットで調べた
6. 自分の経験から選んだ
7. その他（　　）

★★★次ページの質問にもお答えください★★★

Q10. Q9で『1. 薬剤師』もしくは『2. 登録販売者』に相談して購入とお答えになった方へ:
その説明は満足のいくものでしたか？

1. 満足
2. やや満足
3. 不満

Q11. 医療の場で病気の治療に、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか？

1. 思う　2. どちらともいえない　3. 思わない

『1.思う』とお答えになった方へ:どのようなところへ取り入れるべきだとお考えになりますか？

Q12. 日常生活で、より健康を増進するために、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか？

1. 思う　2. どちらともいえない　3. 思わない

『1.思う』とお答えになった方へ:どのようなところへ取り入れるべきだとお考えになりますか？

Q13. 漢方薬にも副作用があることを知っていましたか？

1. 知っていた
2. 知らなかった→Q17にお進み下さい

Q14. Q13で『1.知っていた』とお答えになった方へ:
どこから副作用の情報を得たのか教えてください。

1. 自分の経験（漢方薬名:　　、症状:　　）
2. 医師
3. 薬剤師
4. 登録販売者
5. インターネット・書籍
6. 友人
7. その他（　　）

Q15. 漢方薬を服用して副作用が出たとき、どこに相談されますか？

1. 医師（　　）
2. 薬剤師
3. 登録販売者
4. 消費者センター
5. 医薬品医療機器総合機構（医薬品副作用救済制度）
6. その他（　　）

★★★次ページの質問にもお答えください★★★

Q16. Q15についてその理由をお答えください。

Q17. あなたが思っている漢方薬に対するイメージ、漢方薬に対するご意見などを自由に書いて下さい。

《あなたについてお答え下さい》

Q18. あなたの性別を教えて下さい。

1. 男性
2. 女性

Q19:あなたの年齢を教えて下さい。

1. 19歳以下
2. 20～39歳
3. 40～59歳
4. 60歳代
5. 70歳以上

Q20:現在、あなたは定期的に医療機関にかかっていますか？

1. かかっている
2. かかっていない

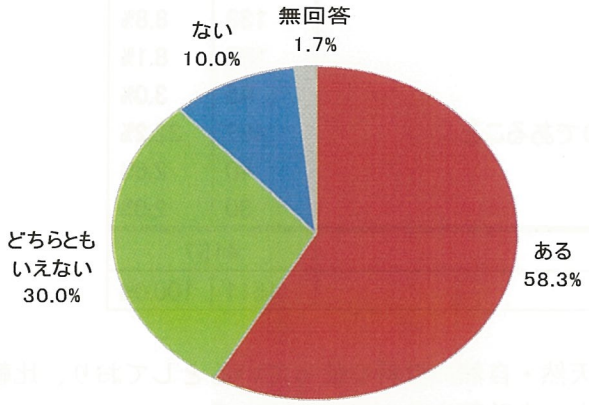
差し支えない範囲で良いので、病名を記載してください。

アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました！

漢方薬についてのアンケート調査結果報告

【調査結果】

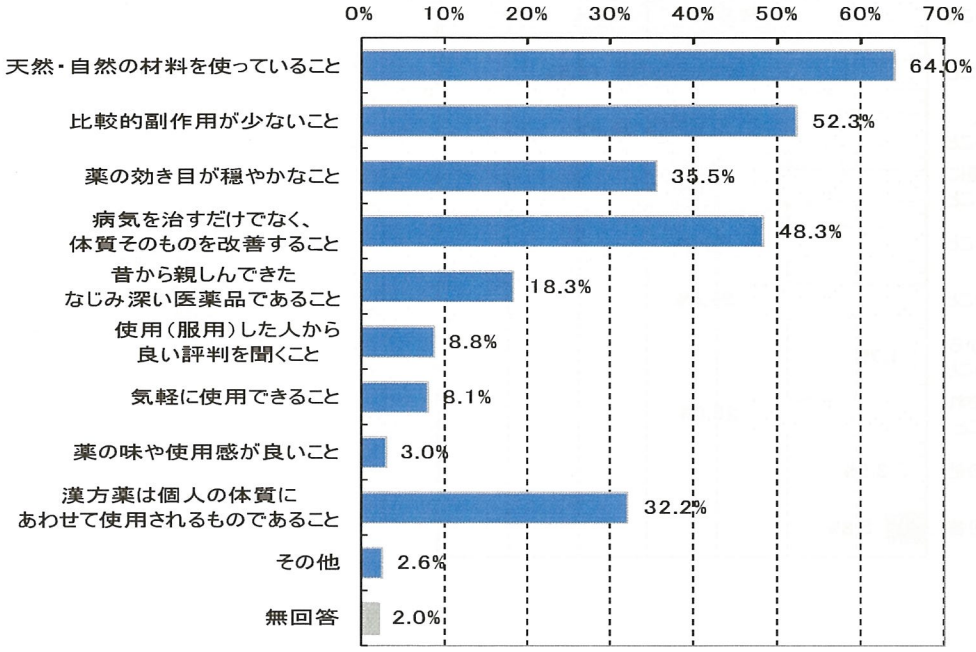
Ｑ１．漢方薬について、興味関心がありますか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	880	58.2%
2	どちらともいえない	454	30.0%
3	ない	151	10.0%
	無回答	26	1.7%
	有効回答者数	1511	100.0%

漢方薬への興味・関心は全体として半数以上は漢方薬について興味があると回答しており、年齢による差はなかった。（参考資料２参照）一方、「関心がない」と、「どちらでもない」を併せると 40%あり、無関心とも読み取れる。

Ｑ２．漢方薬の良い点・良いイメージは何だと思いますか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	天然・自然の材料を使っていること	967	64.0%
2	比較的副作用が少ないこと	790	52.3%
3	薬の効き目が穏やかなこと	536	35.5%
4	病気を治すだけでなく、体質そのものを改善すること	730	48.3%
5	昔から親しんできたなじみ深い医薬品であること	276	18.3%
6	使用(服用)した人から良い評判を聞くこと	133	8.8%
7	気軽に使用できること	122	8.1%
8	薬の味や使用感が良いこと	46	3.0%
9	漢方薬は個人の体質にあわせて使用されるものであること	487	32.2%
10	その他	40	2.6%
	無回答	30	2.0%
	合計	4157	
	有効回答者数	1511	100.0%

漢方薬の良い点・良いイメージとして全体では天然・自然の材料を使っているとしており、比較的副作用が少ないこと、病気を治すだけではなく体質そのものを改善すると回答している。

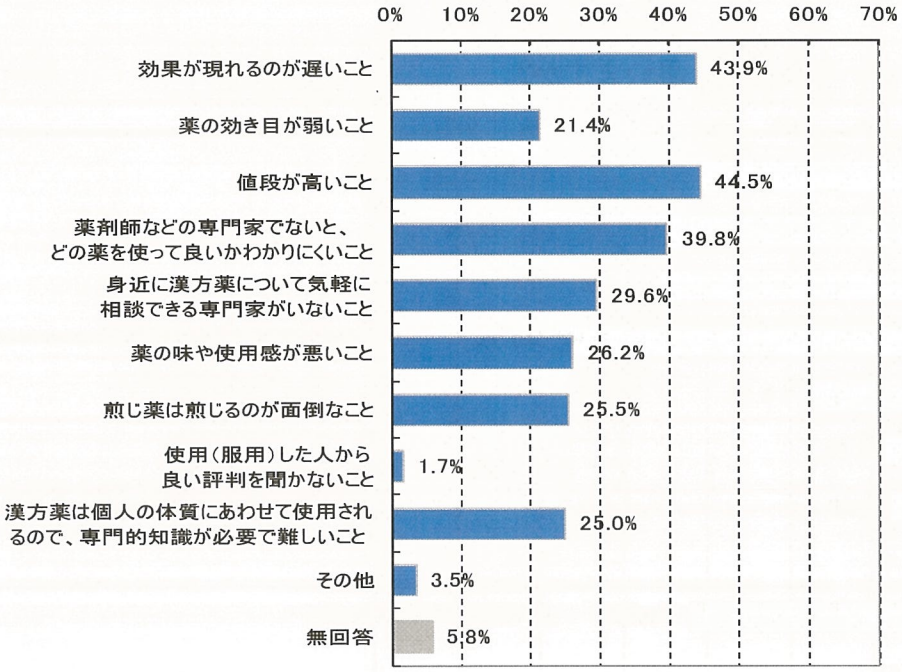
しかし、39 歳以下では、「病気を治すだけではなく体質そのものを改善する」と回答した人が一番多かった。「薬の効き目が穏やかなこと」については，年齢が下がるにしたがって低くなる傾向であった。

高齢者層では漢方の知識をある程度有しているが、深く正確な所までは知らない。また、若い層になるほど、漢方薬の知識を持っていないと考えられる。病人は、自らの体質を正しく理解・把握しているのだろうかが疑問である。(参考資料２参照)

漢方薬への興味・関心に関わらず「天然・自然の材料を使っていること」、「比較的副作用が少ないこと」を挙げている。

漢方薬への興味関心がある方でも、正確な情報を持っていないことが分かった。(参考資料１参照)

Ｑ３．漢方薬の悪い点・悪いイメージは何だと思いますか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	効果が現れるのが遅いこと	664	43.9%
2	薬の効き目が弱いこと	324	21.4%
3	値段が高いこと	673	44.5%
4	薬剤師などの専門家でないと、どの薬を使って良いかわかりにくいこと	602	39.8%
5	身近に漢方薬について気軽に相談できる専門家がいないこと	448	29.6%
6	薬の味や使用感が悪いこと	396	26.2%
7	煎じ薬は煎じるのが面倒なこと	385	25.5%
8	使用(服用)した人から良い評判を聞かないこと	25	1.7%
9	漢方薬は個人の体質にあわせて使用されるので、専門的知識が必要で難しいこと	377	25.0%
10	その他	53	3.5%
	無回答	87	5.8%
	合計	4034	
	有効回答者数	1511	100.0%

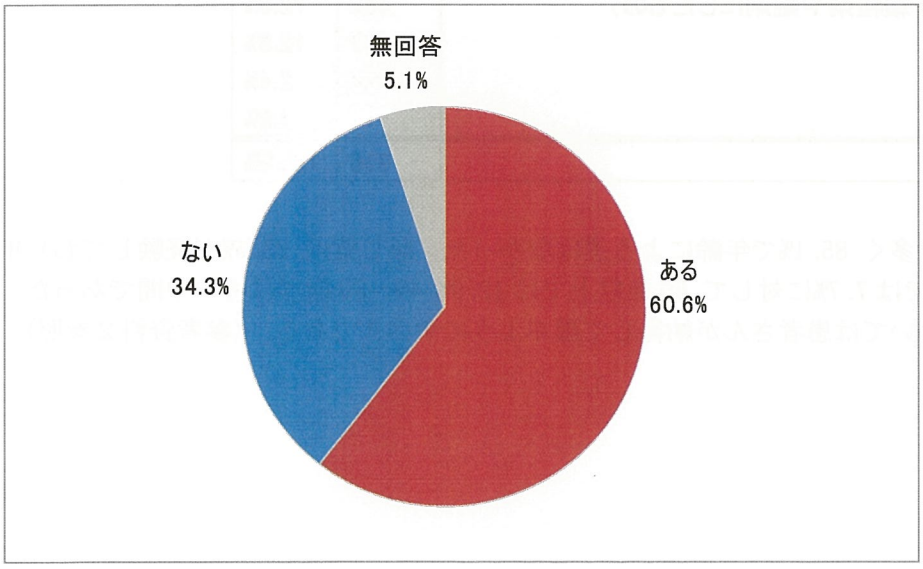
漢方薬の悪い点・悪いイメージとして全体では「値段が高いこと」、「効果が現れるのが遅いこと」、「薬剤師などの専門家でないとどの薬を使って良いかわかりにくいこと」の順に挙げている。味や使用感の悪さについては、年齢層が低くなるに従い回答率が高くなっている。

興味関心がある人は購入して服用しているためか「値段が高いこと」、関心の無い人は「効果が現れるのが遅いこと」を一番に回答した。(参考資料１参照)

その他、「薬剤師などの専門家でないとどの薬を使って良いかわからないこと」や「身近に漢方薬について気軽に相談できる専門家がいないこと」を挙げており、もっと気軽に個人にあった漢方薬の選択ができる方法を考えていく必要がある。

また、漢方薬への興味関心に関わらず、「薬の味や使用感が悪いこと」も挙げられており、製剤への工夫が必要であると思われる。(参考資料１参照)

Ｑ４．漢方薬を服用したり、使ったりしたことはありますか?

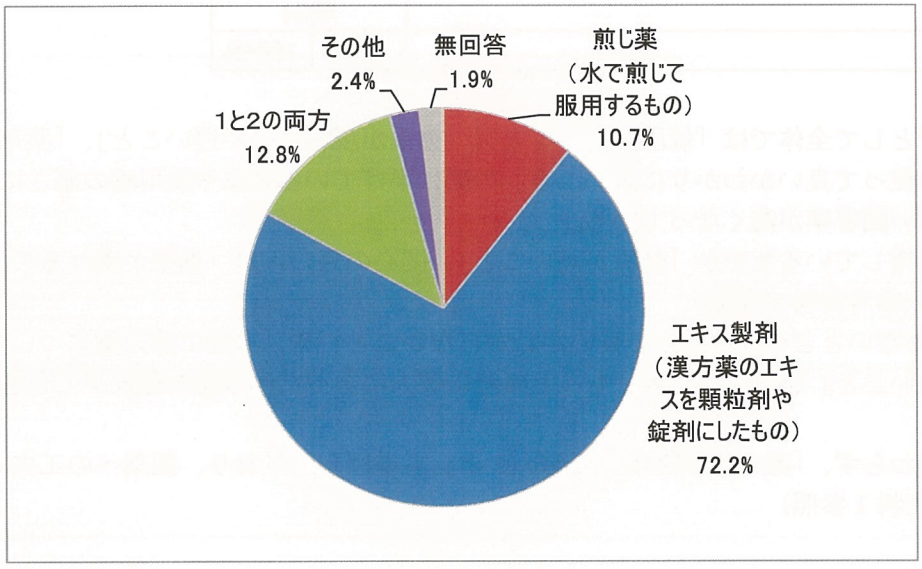


No.	カテゴリ	件数	比率
1	ある	916	60.6%
2	ない	518	34.3%
	無回答	77	5.1%
	有効回答者数	1511	100.0%

漢方薬の使用については、各年代で約 60%はあると回答し年齢による差はなかった。（参考資料２参照）しかし、漢方薬に興味関心がある人ほど服用は高く 72.8%、関心の無い人ほど服用が低く 30.5%であった。（参考資料１参照）

Q５．お使いになった漢方薬はどのようなものですか?

（Q4.「1.ある」とお答えの方）

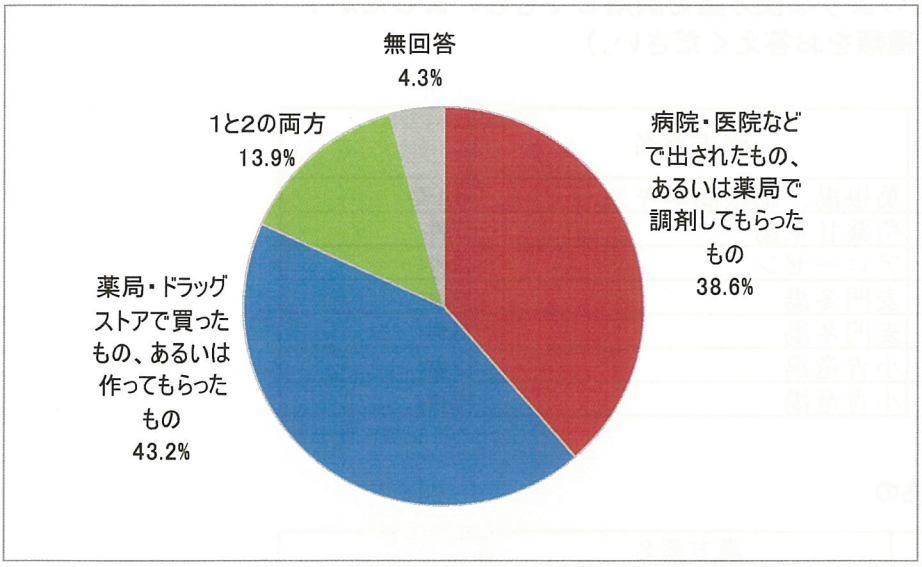


No.	カテゴリ	件数	比率
1	煎じ薬（水で煎じて服用するもの）	98	10.7%
2	エキス製剤（漢方薬のエキスを顆粒剤や錠剤にしたもの）	662	72.3%
3	1と2の両方	117	12.8%
4	その他	22	2.4%
	無回答	17	1.9%
	有効回答者数	916	100.0%

漢方薬の使用ではエキス製剤が多く 85.1%で年齢による差はなかった。煎じ薬は 23.5%が経験しており年齢に比例して高くなり 39 歳以下では 7.7%に対して、60 歳以上では 12.9%、40～59 歳ではその中間であった。

煎じ薬やエキス顆粒の選択については患者さんが納得して選ぶようにすべきである。（参考資料２参照）

Ｑ６．漢方薬はどのようにして入手しましたか?（Ｑ４．「1. ある」とお答えの方）



No.	カテゴリ	件数	比率
1	病院・医院などで出されたもの、あるいは薬局で調剤してもらったもの	354	38.6%
2	薬局・ドラッグストアで買ったもの、あるいは作ってもらったもの	396	43.2%
3	1と2の両方	127	13.9%
	無回答	39	4.3%
	有効回答者数	916	100.0%

漢方薬の入手経路で全体では、「薬局・ドラッグストアで買ったもの、あるいは作ってもらったもの」が「病院・医院から出されたもの、あるいは薬局で調剤してもらったもの」より多かった。

また、若い世代ほど「薬局・ドラッグストア」で買う傾向が高く、さらに女性は「病院・医院」の比率が高く、男性はドラッグストアの比率が女性より高かった。（参考資料２参照）

漢方薬に興味関心がないと回答した方は、「病院・医院」などで処方されたものより「薬局・ドラッグストア」で買ったものが多かった。この結果から、病院・医院での漢方薬処方が積極的に進められていないとも読み取れる。（参考資料１参照）

薬局・ドラッグストアでの購入は、自分の体質・症状が適正に合ったものが選択されているか不明であるが、自己診断、自己判断で漢方薬を選ぶことが無いようにした方が良い。

そのためにも、漢方薬の購入方法について一般県民に周知していく必要がある。また、漢方薬選択のための情報提供をもっと積極的に取り組むべきである。

Ｑ７．Ｑ６で『1.病院・医院』とお答えになった方へ：

・どんな病気・症状で、どのような漢方薬を調剤してもらいましたか？
（最もよく使用するもの２種類をお答えください。）

◆1 番良く使用：効いたもの

順位	症状	漢方薬名	
１位	風邪	葛根湯、葛根湯エキス	14件
２位	足のつり	芍薬甘草湯	7件
３位	便秘	アローゼン	3件
３位	咳・喘息	麦門冬湯	3件
３位	風邪	麦門冬湯	3件
３位	花粉症	小青竜湯	2件
３位	鼻炎	小青竜湯	2件

◆1 番良く使用：変化がなかったもの

順位	症状	漢方薬名	
１位	風邪	葛根湯	2件
２位	花粉	小青竜湯	2件

◆1 番良く使用：効果がなかったもの

各1件

症状	漢方薬名
頻尿	八味地黄丸
おなかの痛み	柴胡桂枝湯
月経不順	当帰芍薬散

◆2 番良く使用：効いたもの

順位	症状	漢方薬名	
１位	風邪	葛根湯	５件
その他	風邪	麻黄附子細辛湯エキス顆粒	１件
	咳	五虎湯	１件
	咳	半夏厚朴湯	１件
	咳	小青竜湯	１件
	胃の症状	百草丸	１件
	胃の症状	半夏厚朴湯	１件
	便秘	大建中湯	１件
	便秘	麻子仁丸	１件
	吐き気の風邪	柴胡桂枝	１件
	冷え	八味地真丸	１件
	にきび	十味敗毒湯	１件
	足の血行を良くする	八味地黄丸	１件
	花粉症	小青竜湯	１件
	足がツル	芍薬甘草湯	１件
	頭痛、首のこり、背部痛、寒気	葛根湯	１件
	睡眠	加味帰七湯	１件

◆2 番良く使用：変化がなかったもの

症状	漢方薬名
弱った時	補中益気湯

◆2 番良く使用：効果がなかったもの

症状	漢方薬名
不明	芍薬甘草湯

風邪で葛根湯が処方されて、「効果があった」と回答したのが１番と２番の合計で 19 件と多かった。次いで、足がつるなどの症状に処方された「芍薬甘草湯」の効果があったとの回答が多かった。

Ｑ８．Ｑ６で『2. 薬局・ドラッグストア』とお答えになった方へ：
（最もよく使用するもの２種類をお答えください。）

◆1 番良く使用：効いたもの

順位	症状	漢方薬名	
1位	風邪	葛根湯	84件
2位	胃の症状	大正漢方胃腸薬	6件
3位	鼻炎	小青竜湯	4件
4位	風邪	小青竜湯	4件
5位	風邪	柴胡桂枝湯	3件
6位	便秘	タケダ漢方便秘薬	2件
6位	胃の症状	柴胡桂枝湯	2件
6位	咳・喘息	麦門冬湯	2件
6位	尿が出にくい	八味地黄丸	2件
6位	吐き気	柴胡桂支湯	2件
6位	更年期障害	当帰芍薬散	2件

◆1 番良く使用：変化がなかったもの

順位	症状	漢方薬名	
1位	風邪	葛根湯	15件
2位	むくみ	防已黄耆湯	2件
2位	鼻炎	小青竜湯	2件
2位	風邪	小青竜湯	2件
その他	胃の症状	啓脾湯	1件
	胃の症状	大正漢方胃腸薬	1件
	胃の症状	紫胡桂枝湯	1件
	咳	麦門冬湯	1件
	寒気	葛根湯	1件
	更年期	桂枝茯苓丸	1件
	生理痛	当帰芍薬散	1件
	足の冷え	苓姜求甘湯	1件
	内脂肪をとる	防風通聖散	1件
	鼻づまり	荊芥連翹湯	1件
	鼻炎	防已黄耆湯	1件
	婦人薬	桂子伏苓丸	1件
	便秘	防風通聖散	1件
	夜中の排尿	八味丸	1件

◆1 番良く使用：効果がなかったもの

順位	症状	漢方薬名	
1位	風邪	葛根湯	2件
2位	肥満	防巳黄耆湯	1件
	リュウマチ熱	みみず	1件

◆2 番良く使用：効いたもの

順位	症状	漢方薬名	
1位	風邪	葛根湯	6件
2位	風邪	柴胡桂枝湯	3件
3位	胃の症状	柴胡桂枝湯	2件
3位	咳	麦門冬湯	2件
3位	膀胱炎	猪苓湯	2件
3位	鼻炎	小青竜湯	2件
その他	風邪	銀杏散	1件
	風邪	桂枝湯	1件
	風邪	参蘇飲	1件
	風邪	不明	1件
	胃の症状	防風通聖散	1件
	膀胱炎	五淋散	1件
	頭痛	桂枝茯苓丸	1件
	頭痛	釣藤散	1件
	慢性鼻炎	荊芥連翹湯	1件
	便秘	大黄甘草湯	1件
	便秘	下通丸	1件
	便秘	センナ末	1件

◆2 番良く使用：変化がなかったもの

各1件

症状	漢方薬名
肥満	防風通聖散
肥満	ナイシトール
肥満	大柴胡湯
喘息	麦門冬湯
体調維持	八味地黄丸
長びく風邪	柴胡桂枝湯
便秘	大柴胡湯
鼻炎	不明
冷え	当帰芍薬散

◆2 番良く使用：効果がなかったもの

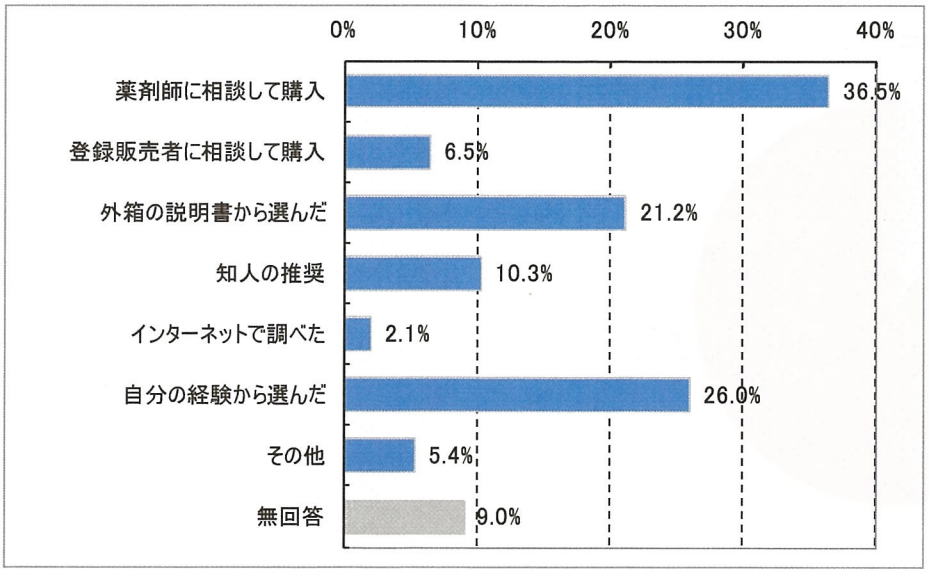
順位	症状	漢方薬名	
1位	風邪	葛根湯	2件
2位	花粉症	小青竜湯	1件
2位	更年期	ルビーナ	1件

病院・医院で多く処方された「葛根湯」が、薬局・ドラッグストアでも同様に多く購入されていた。

また、鼻炎、花粉症での「小青竜湯」も使用されていた。「葛根湯」は多くの人が「良く効いた」と回答しており、1番多く効果を経験していた。

しかし、「効果が無かった」と回答したのも「葛根湯」が1番多かった。風邪に対しては「葛根湯」が一番多かったが、他に小青竜湯、柴胡桂枝湯、銀杏散、桂皮湯、参蘇飲と色々の漢方剤が使用されていることも分かった。

Q９．漢方薬を選定した理由は何ですか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	薬剤師に相談して購入	191	36.5%
2	登録販売者に相談して購入	34	6.5%
3	外箱の説明書から選んだ	111	21.2%
4	知人の推奨	54	10.3%
5	インターネットで調べた	11	2.1%
6	自分の経験から選んだ	136	26.0%
7	その他	28	5.4%
	無回答	47	9.0%
	合計	612	
	有効回答者数	523	100.0%

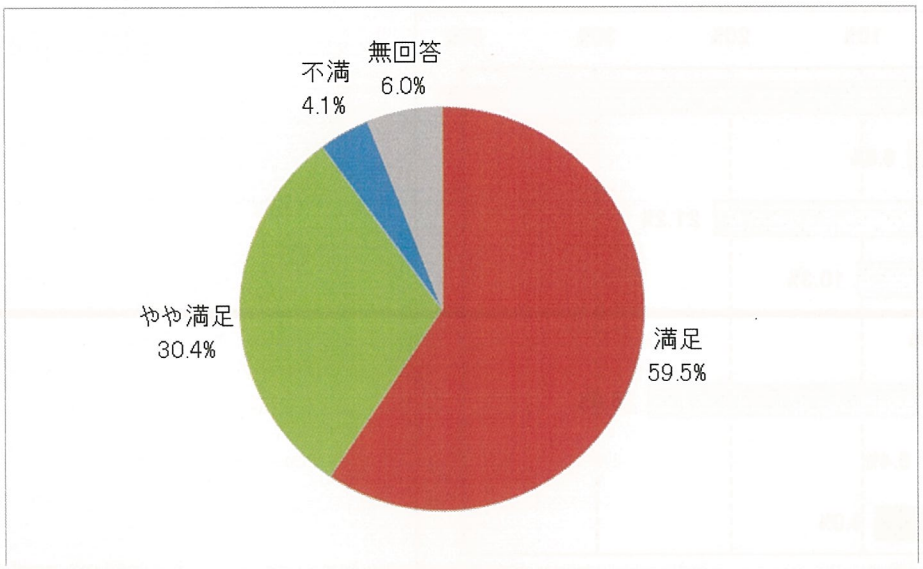
漢方薬を選定した理由として、全体では「薬剤師に相談して購入」、「自分の経験から選んだ」、「外箱の説明書から選んだ」の順に回答している。

しかし、39 歳以下では「自分の経験から選んだ」を第１位に回答している。年齢層が低くなるほど薬剤師に相談する傾向が低くなり、自分の経験で選択している傾向にある。（参考資料２参照）

このように自己判断で漢方薬を選定している場合、自分の症状・体質に合っていたのかは疑問である。

漢方薬の選定では、自分の経験から選んだ人も多く見られ、さらにその選択内容について調査していく必要がある。そして、漢方薬などの選択には薬剤師などからアドバイスを得て選んでいくように広報していく必要がある。

Ｑ１０．説明は満足のいくものでしたか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	満足	129	59.4%
2	やや満足	66	30.4%
3	不満	9	4.1%
	無回答	13	6.0%
	有効回答者数	217	100.0%

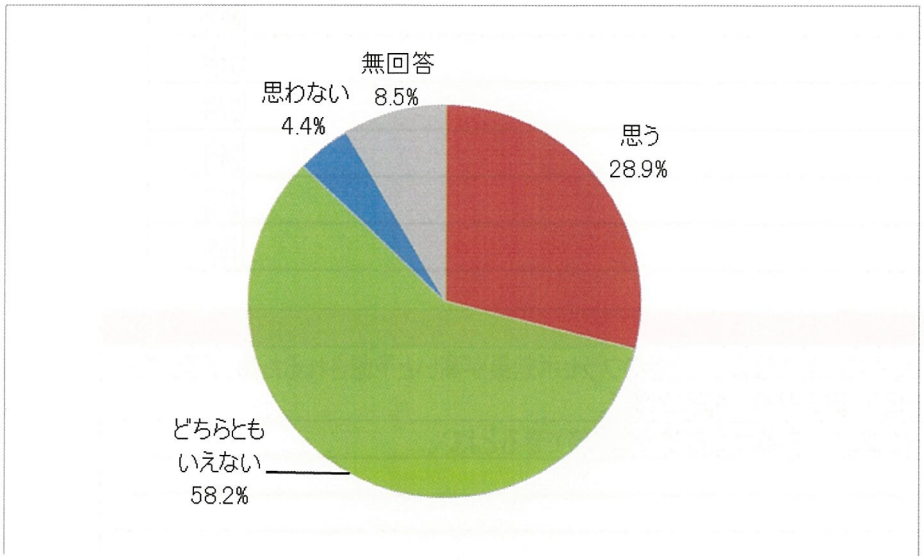
漢方薬への説明では全体で「満足」、「やや満足」を合わせると約90%が回答しており、その満足度については、39歳以下、40～59歳、60歳以上の順に満足度が高い傾向であった。「薬剤師に相談して購入」した人で「不満」であると回答したのが4.7%であったのに対し、「登録販売者に相談して購入」した人は不満が0%であった。（参考資料２参照）

薬剤師・登録販売者から相談して購入した場合の満足度は高かったが、インターネットで調べて購入した方があまり満足していないことが分かった。

この結果から、登録販売者が頑張っているのか、薬剤師への期待が大きい分不満も多いのかの判断つかないため、さらに調査していく必要がある。

また、インターネットで購入した場合の満足度が悪い原因がどこにあるか、消費者ニーズを把握するため、さらに調査していく必要があり、その結果を含めてインターネットにおける情報提供を改善していくべきである。

Ｑ１１．医療の場で病気の治療に、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	思う	437	28.9%
2	どちらともいえない	880	58.2%
3	思わない	66	4.4%
	無回答	128	8.5%
	有効回答者数	1511	100.0%

漢方薬に対する「興味がある・ない」に関わらず、「どちらとも言えない」との回答が 50%を超えており、「取り入れるべき」と思う人は 30%弱であった。（参考資料１参照）また、思うと回答した方は年齢が上がるに従って増加していた。（参考資料２参照）

この調査結果は、「漢方薬は高い」という回答結果や、病気になった場合にもっと即効性のある薬を求める気持ちの表われであるとも受け取れる。一般県民は、医療の場へ病気治療に対しての漢方薬の取り入れには消極的であるように思える。

「医療の現場」というアンケート調査内容が分かりづらかったかもしれないが、「病気にならない目的の使用」、「病後の使用」など漢方薬の役割を明確として、情報提供をもっと行っていくべきである。

コメントでは、漢方専門の医療機関・医師・薬剤師を増やし、もっと積極的に色々な科で取り入れて欲しいとのことであった。また、体質改善のために漢方薬の使用を増やして欲しいとする意見も多く挙げられた。

順位	医療の場、病気の治療にもっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか？ 『1.思う』とお答えになった方へ：どのようなところへ取り入れるべきだとお考えになりますか？	回答件数
1位	病院・医師	34件
2位	体質改善	33件
3位	西洋薬の併用・補助的な役割	27件
4位	副作用	24件
5位	慢性的な症状	23件
6位	すべて	15件

病院・医師
どんな人向けというのが複雑なので、そこにあてはまったときのプラセボ効果が高いと予想されるため、ドラッグストアや病院で処方されるのは良いと思う。婦人薬や、睡眠改善薬。
患者ともっとコミュニケーションをとってほしい。薬局でも病院でも相談できるとよい。
漢方の知識が有る医者
病院　他4件
大きな規模の病院
民間の病院など。
病院で話されなかったら、ださない。
薬を処方される際、漢方or漢方以外という選択肢ができるようになればいいと思う。他4件
きくのであれば　病院で説明あれば
クリニックでも出していただけたらと思います
ふつうに病院で診察時に処方されて入手できる
医療の場の方が（家庭医）安心
医療状早く効く良い医者及び営業的　患者立場とコミュニケーションがあれば…医者の知識があれば
一般の医院で扱っていない（〇クリニック）
患者ともっとコミュニケーションをとってほしい。薬局でも病院でも相談できるとよい。
漢方の知識が有る医者又は薬剤師
効果があれば、薬の選択は医者に…
専門（処方してくれる）の医師が少ない　ほとんどが一般の薬
処方せんにとり入れてほしい　医療機関にかかった時
先生の判断だから
診療所や病院の多くで。一見漢方を処方してくれるかどうかわからないので。
西洋医学の医師全員が漢方薬を学ぶべきと思う
薬局で買うより安いから
総合病院や医院クリニックなどで、気軽に医師が処方してくれるといいと思います。漢方専門医が増えるといいな～と思っています。
漢方専門病院、漢方処方を増やす
もっと積極的にいろいろな科で取り入れてほしい。
混合診療を取り入れるべきと思う。

体質改善
漢方は化学薬品のように一時おさえだけでなく体質も改善出来るし予防にもなるから
漢方薬で体質改善し、自然治癒力を引き出せたらよいと思う。
漢方薬を飲みますと、体が良くなりますのでもっと手広くやって下さい
緩和医療なでのQOL改善
具体的に言えないが、体質の改善等に…
治癒と体質改善
専門知識がないのでよくわからないが、対症療法の即効性の薬だけでなく体質改善などに使えればよい。その人に合った、両方の長所を使いわければよい。
体質に合わせられるから
体質の改善にもつながるから
体質を改善できれば良くなる症状
体質改善　他9件
体質改善＞対症療法
体質改善で症状が良くなる場合に。
体質改善という意味では大きいと思う。
体質改善となる根本治療だから
体質改善につながるし、色々えらべるから
体質改善にも使えるため、冷え症や生理痛等血のめぐりが悪くておこる症状では血の巡りをかえる漢方を使った方が良いと思います。
体質改善や、体力回復に。
体質改善をするためには時間がかかるのでアレルギーの分野で
体質改善を目指したい人に、西洋薬に抵抗のある人に
体力回復や体質改善など
薬を何種類も使っている人に対する、体質改善
予防医学で、病気になりにくい体質にする。（体質改善）

西洋薬の併用・補助的な役割
西洋との併用で使用していく。（サポートとして）
西洋薬じゃ治せないものがある。未病を治せる。
西洋医学では限界のとき
西洋医学で症状が良くならない場合
西洋医学と東洋医学はお互いの良い所と悪い所というか足りない部分を補いあわなけばならないと思う。
西洋医薬と併用して
西洋治療薬の効果の増進と副作用の防止
西洋薬では、カバーできないところがある為、補う意味で使用するべき。
西洋薬で副作用が強く治療がうまくいかない場合に使ってたい。
西洋薬とのコラボなどで互いが互いを補完出来ればと考えます。
西洋薬よりも効くものについて
西洋薬を長く飲みたくないので。
薬を補完するように使用すべきだと思う。
薬と併用してほしい。
東洋医学をもっと併用すべき
東洋医療と西洋のそれぞれ良い部分を取り入れても良いと思う。
・西洋医療では効果が強すぎる場合（特に高齢者）　・原因が不明だが症状がある場合
なかなか、治らない方へ
医療用の薬とは違う効用があるので
化学薬で症状が改善されない時
漢方薬と普通の医薬品をあわせて使えるようにした方がよい。
漢方薬の良い処を取入れて併用して使用すればもっと効果が上ると思う
病気を治す発想の西洋的薬と、体質改善の漢方薬との併用
現代医学だけでは無理なこともあると思うので漢方薬も取り入れた治療を考えることもありだと考えます
現代医学で解決されない場合とか又は薬で薬害にあった時など、体や胃にやさしい漢方で治られた方を何人か聞いているので…
他の薬と並行して使用できれば
便秘・整腸や慈養強壮など、プラスアルファでQOLの向上につながる使用

副作用が少ないことが期待される場所
副作用がない点
副作用がなく安心
副作用が少くないと思うので整形外科等で
副作用が少ない　他4件
副作用が少ないことと、体質を改善してくれる。薬の量が少なくなる
副作用が少ないため、ゆっくりと体にきいていく用に思う
副作用が少なくて安心して長い間飲んでいられる
副作用が少なく長期に使用できるのでよいと思う
副作用が比較的少ないと思えるので数種類の薬を服用している方などに使用するのに良いと思う
副作用の強い西洋薬の副作用軽減（例　抗ガン剤に補気剤）などに効果的な為。
副作用の生じるような色々の製薬に対して。
副作用を強く感じるお薬の処方の時など（花粉症の薬で、ねむけやのどの乾きがつらい時）
薬の副作用より穏やかな効きめで良いかなと思います。他1件
一般の薬は、副作用があって当り前と聞いています。少しでも不安がないものと思います。
漢方は副作用がマイルドだが長く使わないと効かない
効果あって副作用少ないなら。
体調にあわせて、長く服用をし、副作用も少いように思う。
自然、副作用が安心
少しずつでもいいので、体に負担をかけず体質改善できることはいいと思うので、副作用で悩んでいる人にはいいと思う。

慢性的な症状
慢性疾患（肥満症等）
慢性疾患、病名が特定できない不定愁訴
慢性疾患に利用してほしい。他5件
慢性疾患やアレルギーに対して使用した方が良い
慢性的な症状で長期間飲まなければならないような時
慢性的な症状や虚弱的体質改善
不定愁訴が多い時、一般薬で改善せず慢性化する時。
長く服用しなければいけない病気の方で副作用が心配と思っている人へ。体質改善したいと考えている人へ。→保険がきけば漢方薬が身近なものになるのではないか。
長く服用しなければならない病気や治療のとき　他1件
長期で治らない時
長期間服用することになった時、安心できるような気がするから
胃薬や風邪、長期的にのむ薬
発症してしまった病ではなく病名が付かないようなものや慢性的なもの病後の回復、未病といわれる状態での回復の手助けなど→検査で様子見状態で発病をおさえるなど…
頭痛薬や、精神病など、長期的に飲む可能性のある症状に対して、合う処方があれば、取り入れるべき（生活習慣病も）
糖尿病、高脂血症などの慢性病
脚腰等の慢性の痛みに対し副作用のない範囲で適用したらどうか、かつ、保険適用で。

すべて
全て
全てにおいてつかえる。西洋薬は症状をおさえることがメイン。健康な状態に近づけるには漢方の方がむいている。
全てにおいて医者の理解不足
あらゆるところ　他1件
ふだんから
医療全般
急性、慢性、疾患
巾広く治療に当るべき
現代の医療に
折角のものだからどこへでも
病気全般
良いと思うこと（効くと思うこと）は何でもすればよい
すべての医療現場
最近の漢方薬は煎じたりせずにほとんど顆粒になっていた使い易いのでもっと取り入れるとよいと思う

薬局
薬局　他1件
OTC：OTCほど、カウンセリングの場であるべき。他1件
ドラッグストアでももっと積極的にお勧めする
ドラッグストアなどでの相談コーナーなど。
どんな人向けというのが複雑なので、そこにあてはまったときのプラセボ効果が高いと予想されるため、ドラッグストアや病院で処方されるのは良いと思う。婦人薬や、睡眠改善薬。
患者ともっとコミュニケーションをとってほしい。薬局でも病院でも相談できるとよい。
漢方の知識が有る薬剤師
市販薬としてはOTCのメリット、デメリットと漢方のメリット、デメリットをお客様にしっかり伝え、お客様がどちらを使いたいかを選べるようにする。

具体的な症状の回答
風邪　6件
アレルギー　4件
病名がつけられない、体調の悪い体を治す為の治療。
不定愁訴、更年期障害など、精神的な部分　消化器関係
「がん」患者には新薬と併用して使うとか
①貧血の改善　②患者の体力回復→（ガンの薬物、放射線治療の余後）
アトピーや、更年期の方々など、慢性的な病気をおもちの方には、漢方薬で体質改善のために良いと思いました。
アトピー治療等、長期の治療が必要となるもの。又は、100%の治療ができていないもの。
がんの治療
花粉症
外科的な施術ができない場合や、手術をしないで病気を直したい時
疲労、冷え、神経でよく下痢をします。冬は毎年足にしもやけが出来る。この様な体質に
皮ふ病、うつ病
表面の治療ではなく、その人が抱えている根本的な問題の解決
病気（特に難病（たとえばガンなど）…などに積極的に使ってほしい
病気の初期症状のころや、漢方での治療が可能な症状の場合
認知症の方へ
糖尿病
結石の効果があったが、その後、処方されなくなった。処方して欲しかった。
血圧の関係、安定すれば
血流を良くする薬をのんでいます
肩、首等のこり、胃炎、頭痛等
抗ガン剤の副作用対策。西洋薬での効果が低い分野。
腰痛、膝関節痛
体への負担が少ないので胃などが弱い方に有効だと思います。
術後患者への大健中湯や十全大補湯の投与は術後の調子が良くなると聞いたのでとり入れるべき。
心の痛い
精神疾患の治療など
生活習慣病
整形外科　免疫関係の病気
常備薬

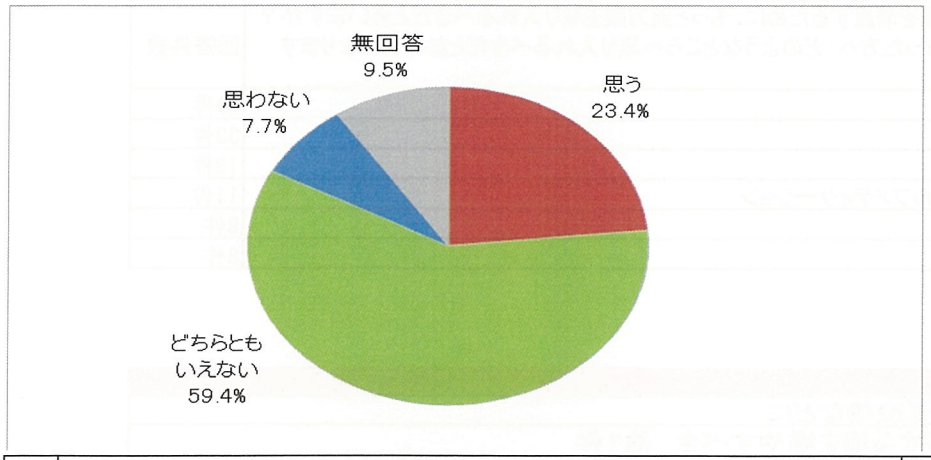
身体に合えば
身体に合えば
症状に合った物を
身体に合えば、こうかが出る点　続けても安心できる。
身体に合っていれば取り入れても良いと思う

個人にあわせて
個々の患者様の症状によって、薬を選択できる。
個人に合った治療ができる
個人の体質にあわせて使用されるので安心感がある。医師と相談しながら使用できれば良いと思う。
個人的には。人それぞれ

かるい症状のとき
かるい症状のとき
ちょっと効いてほしいとき

その他の意見
老人ホーム
?
?質問の意味がよくわからない
からだにいい
からだによさそうだから
たくさんの薬を飲んでいる人。
もっと手軽に買えれば良い
よくわかりません
安心
医学的に証明されているものは使っていくべき
一番信用できるが、わからない(くわしく)
東洋人だから。
漢方薬は体に良いものだと思っているので。
娘さんがよく効
薬効があり、体質にあっている方には、漢方薬の利用もよいと思いますが、薬効の有無の判断は西洋医学の立場でするのか漢方の立場でするのかにより相違がでるのではないか、本人(使用者)の感じ方で決めるのでしょうか。
効くものは効くから
効果が実感でき
合えばすごく効くから
根本から病気を治すことを第1に考えるべきなので。
代替医療が必要　生薬が安心
大くの方の声は漢方の薬を使用(良さそうでも高価で続かないしとやめてしまわれるようです。若い方も漢方薬を使用できるよう保険が使えたらと?思います。
即効性はなくても緩やかに治療出来る薬がよいと思う
最近の漢方薬は煎じたりせずにほとんど顆粒になっていた使い易いのでもっと取り入れるとよいと思う
子供には良いと思う
持病のクスリは一生なので入れるべき
治療の選択巾が広がる
自然治癒力、生命の本質に沿ったものと考えているので
種類を増やすと良い(お客様からの問い合わせが多いため)
症状のではじめなどの早期に取り入れてほしい。
新薬+漢方で速効性を高める為
新薬は副作用があるときくので
身体にやさしい効きめと思う
生薬が元なので、自然界にあり専門家が調合すれば安全なものだと思う。

Q１２．日常生活で、より健康を増進するために、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	思う	353	23.4%
2	どちらともいえない	897	59.4%
3	思わない	117	7.7%
	無回答	144	9.5%
	有効回答者数	1511	100.0%

漢方薬の取り入れには、全体では約60%が「どちらとも言えない」と回答している。一方で「取り入れるべき」との回答は年齢が増すに従い増加しており、60歳以上では27%が取り入れるべきと回答した。(参考資料２参照)

漢方薬に対する興味・関心がある方もない方も健康増進目的における漢方薬の取り入れは「どちらともいえない」と回答しているが、興味のある人32.6%、ない人7.3%は必要あると回答しており、意識の差が現れた結果であった。(参考資料１参照)

漢方薬は高いというイメージもあり、健康増進目的の漢方薬使用については消極的と思われる。また、「健康増進など体質改善には食から」と考えていることもうかがえる。

また、「どちらとも言えない」との回答は、漢方薬についての正しい知識がないためとも捉えることもでき、漢方薬の取り入れについて迷っていると考えられる。

今後、漢方薬にかかる費用と効果について並びに漢方薬の活用方法などの情報を提供していく必要がある。

コメントでは、食事として漢方薬を捉えている部分もあり、日常気軽にお茶のように飲んで、体質改善したいとの意見があった。

順位	日常生活で、より健康を増進するために、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか？『1.思う』とお答えになった方へ：どのようなところへ取り入れるべきだとお考えになりますか？	回答件数
1位	体質改善	29件
2位	食事	33件
2位	体力増強	13件
4位	生活習慣病予防・セルフメディケーション	11件
5位	予防	8件
5位	薬局	8件

体質改善
個人の体質に合わせて体質改善などに
体質改善を目的として使用する場を増やすべき　他1件
病院に行く程でもないが、体質を改善したい人がもっと漢方について知って飲むようになると良い。
「体質から改善」という点　メタボリックシンドロームなど生活習慣病へ取り入れることが良いと思う
体質改善　他10件
体質を改善して直していくために時間がかかるので、日頃から取り入れて健康増進につなげた方がいいと思う。
自分の体質を知り、補ってもらえるものがあれば取り入れる方がいい。
また体質改善に効果がある漢方薬を、より研究して欲しいと思います
体の調子を整えるのに良い
食品、漢方薬によって免疫力をあげていきたい。
体質から変えられると思うので、病気でなくても、体に合ったものを長く服用するなど。
体質改善には、漢方薬がいいと思っているので、風邪などでも使えるといいと思います。
体質改善　コンビニで買えないか？
長く飲んで体質改善に
個人の体質を十分調査した後、弱い所や要改善ポイントを改良する
予防ー体質強化
体質改善となる根本治療だから
自然治癒力、生命の本質に沿ったものと考えているので

食事
薬膳料理等
医食同源というので、食に取り組れるといいのでは、と思う。
食品、漢方薬によって免疫力をあげていきたい。
漢方薬そのものというよりも、医食同源の考え方と漢方薬の知識がつながっていけばいいと思う。
毎日飲むお茶等
食事療法etc
食事
お茶、お菓子など簡単に口にできるものなどで。
医食日源
お茶代わりに気軽にのむ。
食生活に利用価値がある
食事
日常生活気軽に（お茶のように）いただきたい

体力増強
滋養強壮薬
体力低下などのプライマリケア。
健康維持のため
滋養
疲労回復　他1件
健康増進と健康維持のために、使用されると良いと思います。
高齢者の体力増進に
病気の予防と健康の増進
体力増強
免疫力強化
体力ふやせる？
体力の回復

生活習慣病予防・セルフメディケーション
セルフメディケーション　他1件
セルフメディケーションの1つとして取り入れることで、より健康を増進できると思います。
「体質から改善」という点　メタボリックシンドロームなど生活習慣病へ取り入れることが良いと思う
治未病を行っていくべきと思う。
理解できればセルフメディクーションに向いていると思います。
生活習慣病対策　他1件
私の場合体の調子を見て使用出来る
生活習慣
生活習慣病の改善

予防
常に予防という考え方をしっかり持ち、症状がひどくなる前に対応したいと思います。
予防として使用してもいいのではないか？
病気の予防と健康の増進
予防医学として、アンチエイジングとして
体の元から元気にしてくれる物。病気を予防する。
予防ー体質強化
健康食品的な考え方で使用できると良いと思う　病気の予防
病気の予防

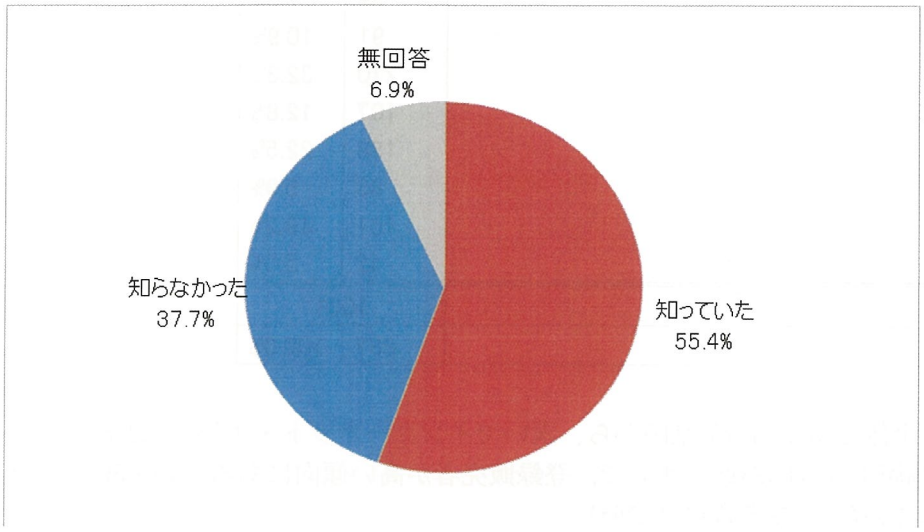
薬局
薬局・ドラッグストア　他6件
病気になった場合、医者から治療の方法を受ける場合と薬剤師から漢方薬についての治療方法とあり、選択を詳しく知りたい。

風邪
風邪、胃腸症状
風邪等でひきはじめかなと感じた時に使用している　他1件
体質改善には、漢方薬がいいと思っているので、風邪などでも使えるといいと思います。
風邪のときなど

サプリメント
サプリメントとして使えればよい
サプリメント他2件
サプリメントの様に気軽に買えてのめるといいと思います。

その他
ダイエット
肥満
女性
ｱﾄﾋﾟｰ
美容関係
ふつうの薬と同じ様、救急箱の中にも。
全面的に
西洋薬では満足いく効果が得られない方に。
併用することで、治療に役立つと思う
現在西洋医学にかたよっていると思うので色々な分野で巾広く取り入れるべきだ
もっと簡単に手に入れられる環境をつくる（値段、場所など）
身近に買いやすく、聞きやすいところがあればいいです。
手軽に服用できる様にコンビニなどでの積極的導入
手軽に取れるような、簡単な物があると良いと思う。
家庭でもとり入れやすいように簡単なものから
TVCMなど身近に情報を手に入れやすくする。
漢方相談がもっと気軽に出来る薬局があったらと思う。ドラックストアでは相談できないし、調剤薬局では聞けない。
昔からあるものであるし、存在は知っていても、使い方が分からず使えずじまいという方もいると思うので。
社会全体で有用性が周知されるような工夫としくみ作り。
効用の説明詳しく
日常使い易いように、名前と効能をもっとわかり易くするとよいと思う。
病気になった場合、医者から治療の方法を受ける場合と薬剤師から漢方薬についての治療方法とあり、選択を詳しく知りたい。
副作用が少ないのかな？と思うので、もっとPRをして色んな所に活用して欲しい。
体に後遺症が出て来ないような物（副作用）
副作用が少くなれれば子供にも
副作用が少なそうだから。他1件
薬は必ず副作用があるため。その薬にかわる効果があるものは漢方へのシフトをしてみるのも良いと思う
保険がきけば良いと思う
もっと安価で、分かり易ければ良いと思うが。
値段をもっと手頃に
オススメあったら。
医師のすすめがあれば
生活の質を良くする為
毎日の体調に合わせて、すぐに漢方薬を飲む様にする。
個の体質に合わせて服用ができる。
病院に行くほどでもないが気になる時に
調子が悪くなりはじめに、整える。
民間薬のようなもので症状の軽いうちに対処すれば悪化しないですむ
定期的に通院されている方。
便秘、下痢など、体調の細かい変化に対して、自分に合った漢方製剤を一人一人がもっていることが必要だと思う。→常備薬化
普段からまめにしっかり服薬できる方には良いと思う。（自分ももっと漢方薬について勉強しないと、うまくすすめられないが）
弱い人、理解しない人
分らない
一生飲み続けるためには漢方薬の方が良いと思う
作用がゆるやかで例へば胃の調子が良くないと思った時早目に飲むとよく効く　早目の使用、化学薬品は効き目を早く出す為体にきつい
設問の意味が不明です。
1部の医院しかおいていない
良いと思うこと（効くと思うこと）は何でもすればよい
自然　安心
その人の体にあったもの
効くなら飲んでもいい
新薬より安心
何かあれば
気になる程度／飲み合わせ
医師の診断があり、必要となった場合にかかる
対症療法が特に必要ではない全ての状況

Ｑ１３．漢方薬にも副作用があることを知っていましたか?



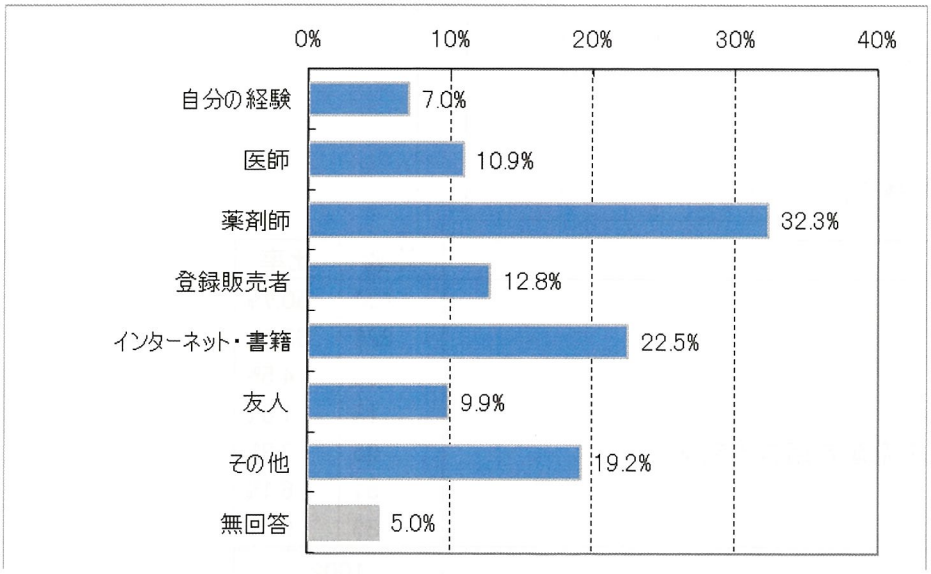
No.	カテゴリ	件数	比率
1	知っていた	837	55.4%
2	知らなかった	570	37.7%
	無回答	104	6.9%
	有効回答者数	1511	100.0%

漢方薬の副作用について全体では 55.4%は知っていたと回答している。知らなかったと回答したのは年齢が増すに従って増加し、60 歳以上では 46.4%が知らなかったと回答した。若い世代ほど副作用に関心を持っているようである。(参考資料２参照)

また、漢方薬に興味のある人は 61.6%が知っていると回答したが、興味がない人は 38.4%と回答し興味の差が知識の差として現れた結果であった。(参考資料１参照)

漢方薬購入時に副作用などの情報を提供されていないと判断される結果であり、漢方薬の副作用について、もっと積極的に伝えていく必要性があると思われる。

Ｑ１４．どこから副作用の情報を得ましたか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	自分の経験	59	7.0%
2	医師	91	10.9%
3	薬剤師	270	32.3%
4	登録販売者	107	12.8%
5	インターネット・書籍	188	22.5%
6	友人	83	9.9%
7	その他	161	19.2%
	無回答	42	5.0%
	合計	1001	
	有効回答者数	837	100.0%

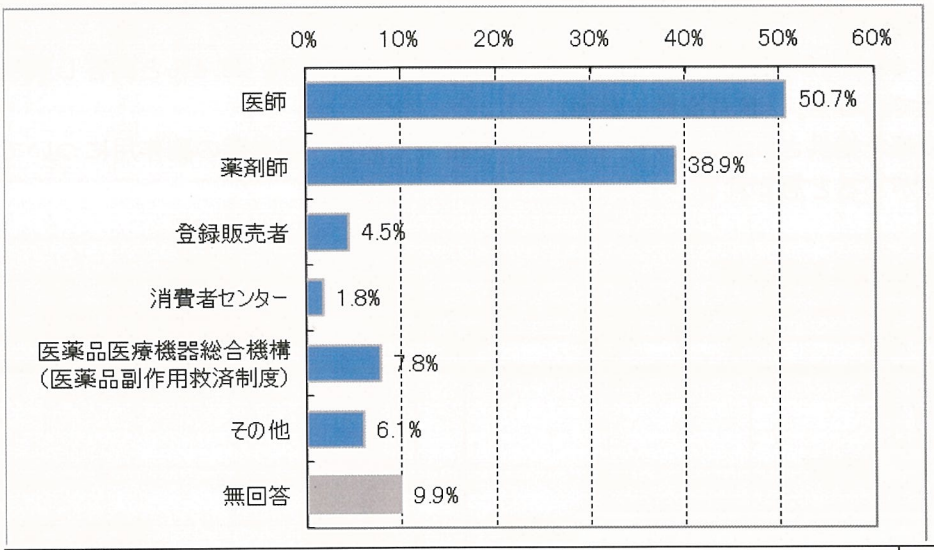
漢方薬の副作用情報入手経路は全体で 32.3%が薬剤師から、次いでインターネット・書籍が 22.5%と高かった。39 歳以下の層では他の年齢層より医師が低い傾向で，登録販売者が高い傾向にある。40～59 歳の年齢層では薬剤師が半数近くを占めていた。（参考資料２参照）

また、医師からの副作用情報提供が低く、このことが、漢方薬の副作用が少ないと思われている原因とも考えられる。

登録販売者は、漢方薬の知識をどこで獲得しているのだろうか。薬剤師はもとより、医師はもっと副作用について説明、情報提供をすべきであり、登録販売者の責任も重い。

医療用漢方薬では医師・薬剤師が、一般用漢方薬では薬剤師・登録販売者はもっと積極的に副作用を伝えていくべきである。

Q１５．漢方薬を服用して副作用が出たとき、どこに相談されますか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	医師	424	50.7%
2	薬剤師	326	38.9%
3	登録販売者	38	4.5%
4	消費者センター	15	1.8%
5	医薬品医療機器総合機構（医薬品副作用救済制度）	65	7.8%
6	その他	51	6.1%
	無回答	83	9.9%
	合計	1002	
	有効回答者数	837	100.0%

漢方薬での副作用出現時の対応では、全体では医師が半数以上を占めた。次いで薬剤師が 38.9%であった。漢方薬への興味・関心に関わらず副作用出現時の対応は一致していた。

アンケート結果では医師への相談は多いが、実際には医師から副作用についての説明を受けているケースが少ないため、相談相手としての医師は頼りとなるか疑問が残るところである。中には製薬メーカー、消費者センター、医薬品医療機器総合機構などに相談するケースもある。

漢方薬服用における副作用の出現では、誤った使用や症の合致も考慮して評価していく必要がある。先ずは処方薬であれば、「医師、薬剤師」に相談してもらうことを徹底する必要がある。

また、ドラッグストアなどから購入した場合、購入したドラッグストアに相談することをシステム化する必要がある。薬剤師はもっと漢方薬についての知識を習得する必要がある。

Ｑ１６．Ｑ１５について、その理由をお答えください。

順位	漢方薬を服用して副作用が出たとき、どこに相談されますか？ その理由をお答えください。	回答件数
1位	医師	285件
2位	薬剤師	250件
3位	PMDA	39件
4位	登録販売者	29件
5位	消費者センター	13件

順位	医師
1位	専門家だから
2位	診察が必要だから
3位	処方したから
4位	信頼がある
5位	安心
その他	身近だから
	なんとなく
	副作用なら誰であっても相談していいはず。
	自分だけでは判断（診断）できないため
	自分が薬剤師だから
	薬局では漢方薬を購入しない為（効かないイメージがあるから）
	医薬品メーカーと連絡をとりやすい
	処方医に症状相談し、調剤薬局にも記録を残してもらうため。
	症状が重ければ病院へ行くと思うので。
	排便の際、ティッシュに血液ついたので心配になり、他院へ受診
	薬屋の薬剤師はあまり親身にこたえない。
	効き目がわからないのでやめました。
	穏やかにきいている様子で副作用の相談なしで…只今入院中でベッドの上が多いので時々、2袋載いたりしています。
	西洋医学と漢方の効果の評価が異なる場合、西洋医学の治療等に信頼を置きたい
	回答の仕方によって公の機関まで尋ねる
	今の所症状がないのでわからない
	ネットだけでは疑問がすべて明らかにならない時があるから
	相談するのはあたりまえです。
	高齢のため相談することが先決と思う

順位	薬剤師
1位	専門家だから
2位	身近だから
3位	処方したから
4位	購入した所だから
5位	信頼がある
その他	聞きやすい
	診察が必要だから
	安心
	なんとなく
	自分が薬剤師だから
	友人が薬剤師　他1件
	自分が薬学部だから　他1件
	副作用なら誰であっても相談していいはず。
	医薬品メーカーと連絡をとりやすい
	症状が重ければ病院へ行くと思うので。
	薬には大小なりとも副作用がある。薬局・ドラックストアーでの知識は上がって欲しい
	いつももらっている所だから
	相談するのはあたりまえです。
	自分の判断：おなかの調子今一あり
	高齢のため相談することが先決と思う
	他に相談する人がいない
	医師には聞きにくいから　他1件
	処方医に症状相談し、調剤薬局にも記録を残してもらうため。
	医師・薬剤師に処方してもらったら、そこへ行って相談したいが以前は時間がなくて飲むのをやめた。
	最近医師に頼りにならない人がいる
	医師は漢方について詳しくはわかっていないから
	医者に相談となると、どこにして良いかわからない
	ネットだけでは疑問がすべて明らかにならない時があるから

順位	PMDA
1位	副作用専門だから
2位	外箱に記載があったから
その他	正しい応対
	相談するより解決したいから
	高齢のため相談することが先決と思う
	資格勉強で学んだため
	早く使用者に伝える必要があるから
	多分、情報を持っていると思われるから。
	副作用なら誰であっても相談していいはず。
	一早く対応してもらえそう。報告後病院に受診する。
	身近に頼れる薬剤師がいれば、薬剤師に聞き、詳しく聞きたい時や、緊急の時は総合機構に聞く。
	今の医師・薬剤師は慢性的且つ西洋医学に基づいた漢方の使い方なのであてにならない。もっと、漢方専門の医師・薬剤師を設置・育成するべき。
	市販薬だったので。
	ある程度の知識は自分でわかるから
	知人から聞いている

順位	登録販売者
1位	購入した所だから
2位	身近だから
2位	専門家だから
4位	聞きやすい
その他	副作用なら誰であっても相談していいはず。
	分らない
	回答の仕方によって公の機関まで尋ねる
	高齢のため相談することが先決と思う

順位	消費者センター
1位	専門だから
その他	なんとなく
	とりあえず相談する
	副作用なら誰であっても相談していいはず。
	どこに電話をしていいのかわからないので
	色々な見地から話を聞かせてもらえそうだから。
	回答の仕方によって公の機関まで尋ねる
	安心できそうなので。
	一番信頼できると考えられる。
	処方や販売元なので

	その他
服用中止	合わないから服用をやめる。他2件
	医師・薬剤師に処方してもらったら、そこへ行って相談したいが以前は時間がなくて飲むのをやめた。
	身体に合わないと思ったらひどくならない内にやめること
	副作用が出たらやめればいい
メーカー	専門家だと思う
	作った所に聞くのが一番早いため。
	メーカーに過去に本例があるかチェック、Pmdaでもカクニン
	お客様相談センターにまずTelをしてからどうするか決める。他1件
	一番正確だから
インターネット	わからないから
	事例が多くあり、参考になる！医師、薬剤師は知らない事が多い！
	ネットだけでは疑問がすべて明らかにならない時は医師・薬剤師に相談
書籍	専門の方でも、人によって漢方薬の知識量に差があるから
漢方専門家	奥が深いものだから
ない	私はない　他1件
その他	漢方薬は身体に合う合わないがあるといわれているため
	自分の判断：おなかの調子今一あり

医師と回答したのが多かったが、その理由として「処方した人に相談する」としたが、「医師は漢方の知識があるとは思わない」との内容もあった。

また、「相談しやすいから」と回答した方は医師・薬剤師を選んでいた。ＰＭＤＡに報告するとの回答の中には、店頭で訴えても、その後ＰＭＤＡなどに報告しなければならないため、医師・薬剤師には報告しないで直接ＰＭＤＡに相談すると回答した方もあった。

「外箱に記載があるため」と回答した４名および「副作用専門だから」と回答した13名はすべてＰＭＤＡに相談すると回答した。

漢方薬に限らず、副作用報告のシステムを医師・薬剤師が患者さん・消費者に伝えておくべきであり、また副作用報告を受けた医師・薬剤師はメーカーやＰＭＤＡに副作用報告をしなければいけないことを自覚すべきである。

Q17. あなたが思っている漢方薬に対するイメージ、漢方薬に対するご意見などを自由に書いて下さい。

漢方薬への意見として758名に記入して頂いた。その中で漢方薬を良いと評価した方は197名あり、効き目が穏やかであり副作用が少ないこと、体質改善効果を挙げている。逆に評価していない方は味、臭いなどの点を挙げ、苦くて飲みづらいとのコメントが多くあった。

また、長期に服用しなければならないこともあり、値段について高価であり手に入りづらいとのコメントも多くあった。

その他、選ぶことが難しいや医師の知識も乏しいなどの記入もあった。その人の体質に合っていればすごく良く効くのに、効き目が遅く効果が弱いというイメージがあるのでもったいない気がします、と現在の漢方薬の選択が適切であればもっと効果が上がるのではとする記載もあった。

順位	あなたが思っている漢方薬に対するイメージ、漢方薬に対するご意見などを自由に書いて下さい。	回答件数
1位	服用しにくい（苦い・臭い・服用方法）	125件
2位	体に良い・安全	83件
3位	副作用についての意見	73件
4位	値段が高い	70件
5位	効果が遅い・弱い	64件
6位	体質改善	61件
7位	難しい	56件
8位	おだやかな効き目	50件
9位	知識がない	43件
10位	長期間服用	38件
11位	体質にあえば効く	30件
12位	漢方を取扱う医療機関が少ない	18件
13位	もっと利用すべき	17件
13位	西洋薬との関連	17件
15位	情報が少ない	16件
16位	効果がわからない	14件
その他	身近ではない	4件
	説明不足	3件
	その他　良い意見	88件
	その他　否定的な意見	66件

1位	服用しにくい（苦い・臭い・服用方法）
量・形状	飲みにくい　他15件
	飲みずらい　長期使用しなければならないので大変
	出来たら味のもうひと工夫と、薬の包装形態をのみやすい形にしていただけたらと思います。（ツムラよりクラシエの方がスティック状で良い）
	飲みにくい、一回の服用量が多い　他1件
	量が多い　他2件
	粉にすると量が多く感じる。
	飲みにくいイメージがあるので、カプセルなどの形をもって増やしてほしい。効くと思うと苦くても飲めるが、錠剤の方が助かる。
	・錠剤があるとうれしいです。細粒は飲みづらいので…味も飲みやすい味付けになるとうれしいです。
	漢方薬は苦く、顆粒が多く、飲みにくいので（苦手なので）錠剤やカプセルにはならないものなのでしょうか…。と思ってしまいます。他1件
	飲みやすいといい　煎じ薬だったら飲んでもいい
	煎じ薬は時間がかかるので顆粒はすぐ服用出来る
味がまずい	まずい 他15件
	自分の体調に合っていると、おいしくて、合っていないと、まずい
	味が気になる。他1件
	おいしくない　他2件
	味が苦手
	味が悪く飲みづらい　他1件
	くせがある
	のみにくく、味が…
	飲みやすい味ではない
苦み	苦い　他44件
	苦みが効果ありそう
	苦い効果がよく出る
	体にやさしいイメージだが、ニガイというイメージがある。
	神秘的。苦そう。薬というよりサプリメントのようなイメージがあるます。
	味が苦い飲みにくいイメージ、もう少し飲みやすくすると良いのでは？
	漢方薬は苦いイメージ　緑茶やほうじ茶のように煎じなくてもお湯をさすだけで飲める漢方薬があったらもっと普乃すると思う
	量が多く苦くて服用しにくい。長い間飲み続けなれれば効果が出ないので苦手。
	苦味がある、顆粒は飲みずらい。他2件
	苦い、妊娠中でも飲める
	現在入院中、毎食後「ツムラ乙字湯」を服用していますが、苦しくて苦労しています。
	自分で煎じたり手間がかかる　苦くて飲みにくい
	苦くて飲みづらいイメージで、積極的に服用したいとは、思わないのでもう少し飲みやすくなると良いかなと、思いました。
	とにかく「苦い」というイメージがあります。多分最初に飲んだものが予想以上だったためと思いますが…。もう少し飲みやすくなると苦手意識もなくなると思います。
	自分の体質に合うものがあれば、効果もしっかり出てくれるだろう。飲みにくいイメージはある。（苦い、まずい）
臭い	臭いがキツイ　他8件
	臭いが独特で飲み辛い　他1件
	・味やニオイがキツイ。　・好まれる方もいるので、飲みたい方が積極的に使えばよいのではないかと思います。
	口当りが悪く、苦い、香りが臭い。
	昔、母が煎じていて臭かったこと（？）
	臭いがきついけど身体によさそう
	粉が多く、臭くて飲みにくい。
服用時点	食間になかなか仕事をしていると服用することが難しい
	食前薬の為のみ忘れてしまう　仕事をしていると昼にのむのはむずかしい
	食前服用が多いため忘れがち。他3件
	食前、食間なので忘れ易い
	服用する回数が多いのでのみ忘れが多くなりやすい
	食前・食間はのみづらい。
	食前服用　他1件
	食前薬なので大変（のむタイミング）

2位	体に良い・安全
身体によい	身体に良い　他16件
	体に負担が少ない。他3件
	身体に良く、ナチュラルなイメージ　他1件
	体に優しいイメージがありますが、その分効果が弱いイメージがあります。
	きちんと使えば、体に良い
	自然で体に合う
	わけのわからない化学薬品のような薬ではなく、自然素材を原材料とした漢方薬の方が体に良いに決まってる。
	苦いが体には良いと思う。体の内側から改善できそう。
	健康でいわれるよう、手助けしてくれるもの。
	漢方薬は昔の人の薬だと思っていましたが、現在自分が使用して始めてすぐに（頭痛薬）みたいに速効性はないが、なぜかゆっくりだけど体には良いと思います。
身体にやさしい	体に優しい　他13件
	体に優しい分、本当に効力があるのか少々、不安になります。
	効き目は緩やかだが、その分身体にはやさしいイメージ
	やさしい（強くない）※西洋薬と比べて
	胃に優しく、ゆっくり効き目がある。
	体に優しく、自然な物から作られているかなというイメージです。治りはスローだが、体に効き目はあるのかなという思いです。
	穏やかに身体にやさしい。じっくりと効果が出るのでは。
自然	自然の物で体に良さそうなイメージがある。他2件
	自然素材で良いイメージ。種類が複雑なイメージ。
	天然・自然の材料を使用している事や体質改善に利用できる事など、安心感がある。
	医者の薬はきらい。漢方薬は自然のものだから。
	天然、自然の材料で体にとって自然に吸収され、副作用等少なそう。とりあえず、便秘の改善等に服薬してみたい。
	原料が天然のもの。他1件
安心・安全	安全な感じがする　他8件
	安心感がある　他2件
	安心　ゆっくり効く
	妊娠中でも飲める
	誰でも気楽に飲める。（妊娠中でも授乳中でも。）他1件
	体に安心して飲める
	漢方の方が安全であるイメージがある
	一般に処方される薬よりも効果は弱く、どの面から見ても危険なことは少ないというイメージがあります。
	昔からの伝統と研究によって生れたものは管理をしながら使うときに安心を得られる
	体質に合っている薬を適正に処方してもらい、組み合わせについても安心感がある。
	食べ物の延長線上にあるイメージ
	食事をするのと同じ感覚。悪さをしないと思う。
	安全っていうイメージ、副作用がなさそう。
	のんでも安心、くせにならない

3位	副作用についての意見
副作用少ない	副作用が少ない　他17件
	副作用が少ないので安心感がある。飲み易く、もっとアピールする必要がある。
	天然の材料を使っているので副作用が少ないと思っていた。他1件
	漢方薬は、比較的、副作用が少なく安心して服用出来る。
	西洋医学より副作用が少ないのではないかと思う　他1件
	副作用の事を考えると、漢方薬が良いと思いましたが？その時すぐに分かるように、ネットワークが、しっかりしていれば、もっと使用する人も増えると思いました
	作用がマイルドで副作用が少ないので、健康時に疾病の予防と日頃の健康増進に良いと思います。
	副作用、効果がゆっくりで安心してのめるもの。効果ある←→毒のイメージである。
	副作用が少なく害が少ない。本当に薬の効果が出るのか…
	副作用は有るが、保検薬剤より、副作用がゆるい印象です。
	天然、自然の材料で体にとって自然に吸収され、副作用等少なそう。とりあえず、便秘の改善等に服薬してみたい。
	副作用は少ないが効きめが遅い（ゆっくり）
	漢方は成分が複雑で、接客する機会も少ないので知識をとり入れるのが難しい。また、副作用が少ないとはいえ妊婦の方など飲んではいけないものもあるので注意しないといけないと思う。
	副作用が少いと聞いているが重病者には効果があるものがあるのか
	副作用もあまりなく、体質に合わせて使えるようなので、常々使用したいと思っていますが、近くには漢方の専門医がいなくて、なかなか利用するまでにはいかずとても残念です。
	症状が合う時は良く効く。効かなくても副作用をあまり気にしなくても良い。原料が天然のもの。
	副作用が少なく効き目は遅く時間はかかるが病院の薬と比べたら比較的安心して続けられるというイメージ。
	漢方薬はあまり副作用が無い。使用し安いので今後も取り入れてゆきたいと思います
副作用無い	副作用なし　他8件
	身体に優しく副作用がない物だと思っていました。他4件
	安全っていうイメージ、副作用がなさそう。
	薬の効き目は穏やかだが、副作用はほとんどなくとても人体によい。
	長年12種類の薬を煎じて飲んでいます。まだ、ふらつき、体の冷え症が改善されないみたいです。でも少しづつ良くなってきています。副作用がないのでずっと処方してもらっていきます。
	薬を飲んで副作用がなく体が良くなりますのでよろこんでいます　漢方薬に感謝しています
	副作用が無いと思い込んで、安心感がありました。実際に、胃薬は良く効いて常用しています。
	過去から使用されていた薬品のイメージで副作用もなく効果的な薬剤のイメージがあります
	副作用もなく長く使えば効き目あるかと思います
	飲みつづけても副作用がないので
	同年代の友人が便秘症でセンナを服用してる大変いいと進められ老人にも飲みやすく副作用もないので時折食后に飲用している。
	副作用がなく安心して使える。体の根本に作用してくれる。長い年月の経験があること
	天然の材料を使って、副作用がない薬と思っていた。西洋医術と漢方薬をうまく併用することが大事と思う。
	副作用がない。通販について今、話題になっている。一緒にお酒を飲んでも、大丈夫
	体質が改善されて、副作用もなくて健康になるイメージ
	漢方薬については、利用したいと思っています。血糖値が、今回規正値を超えてしまいました。副作用については、パンフレット等を読んだ限りでは、心配はないというイメージを持ちました。
	あまり副作用ないと思っていた。やはり主作用副作用がある・薬と同じなら、よく、お話をきいてから使わなくてはいけないと思います。
	長く服用して、症状がゆるやかに改善されてくるイメージ。自然の成分から作られているので、副作用などないと思っていました。
	薬の副作用が強く出るので、漢方が良いが、全ての薬を漢方にすることはできない

副作用要望	漢方薬の副作用については、記載されていないので、記載してほしい
	漢方薬にも副作用が出ることを伝えることが必要
	まだまだ副作用がないという認識の方が多いと思う。副作用についても充分に説明されるべきである。
その他副作用	思ったより副作用が怖い　強い薬もある
	色々な症状がある場合にこまかく処方してくれる病院があると良い　ツムラ何番だと同じ成分がダブっていて、副作用の出る格率も高まってしまいそう
	漢方薬の副作用が気になる。
4位	**値段が高い**
	値段が高い　他39件
	高価そう。
	漢方薬は良いと思うけど高いイメージがある。
	高く、手が出しにくい。
	長期間服用すると、高額になる。　他2件
	なかなか効かない、続けていると金銭的にきつい　他1件
	漢方薬は高値であるが速効性が遅い　他1件
	値段が高い。病状を言って調合してもらうと種類が多く期間がながいので長く続かないことがある
	自分の免疫力UPのために主に考えている。値段が高いため、続かない。
	知識があれば便利だと思うが、なかなか難しく、コストが高いのでこちらからすすめにくい。他1件
	穏やかな効き目に対して価格がとんでもなく高い保険がきかないイメージ病気を治すというより体質改善等にもちいるのがいいようなイメージです。
	わかりづらいが体調ごと良くなりそうなので良いが、体調改善するまで続けるとなると高額
	身体にやさしく効くイメージがあるがとっつきにくく値段も高そう。高血圧に良い薬があれば飲んでみたいが今受診している医療機関からは処方されそうもない
	薬草が高いため、毎日飲む金額にならない　毎日飲めば体質も変わるものもあると思う
	今まで一度も服用したことがないので試してみたい気持ちはある。友人が使っていて値段が高いというので相談したことはない（薬局で）
	飲みたいけど高い　他1名
	時間と金額がかかる。
	値段が安くなったら良いと思う
	もっと使用されるべき。しっかりした煎じ薬がいい。錠剤は手軽さはあるが安易なイメージそれを数月のんで効果がないと判断されるのはもったいない。原料が高価になっているのはむずかしい問題だと思う。
	病院からの処方せんだと、処方通りに飲んで先生と相談しながらですが、漢方薬を処方する先生は、少ないように思います。お店（漢方薬を扱っている）だと値段が高いイメージをあまり効目がよくない。
健康保険関連	保険摘要望ましい
	病院で頂きたい　保険が利用できる　安心
	健保のあつかいは？
	高価なので保険がきくと良いと思う
	医師の処方せんが無いと高価

5位	効果が遅い・弱い
効果遅い	効きめが遅い。他15件
	即効性がない。他15件
	効きめが緩やかにあらわれる。 他1件
	身体にはやさしいが効き目が遅いと聞いたことがあります。
	その人の体質に合っていれば、すごく良く効くのに、効き目が遅く、効果が弱いというイメージがあるので、もったいない気がします。
	効きめがシャープじゃない。エキス錠は煎じて飲んだ場合より弱い。長期服用してようやく改善が見られるような、除々に効いてくる
	体質改善には良いと思うが、効果の実感を得るには時間がかかるだろうし、実感も得にくいもの。
	効き目がハッキリ、表われないので途中でやめてしまう。
	効果が現れるのに時間を要するが、体質そのものを改善してくれる薬として認識している。最近、インフルエンザの治療薬として処方している医師もいるようだが、まだまだ、イナビルにはかなわないと考えている。
	効き目は遅いが悪くはならないような気がする。
	効き目はゆっくりだが、確実
	内服の効果はゆっくりだと思いますが、その人に効果が出ることもあるでしょう。
	効果もすぐに表われないものもある。効いているのか否かわからないというのもあるようだ。
	身体にゆっくりききめが出ると思うしいいのですが、風邪などの場合すぐ効き目が表われか方が安心で、料金的にはどうなのか、又医者で漢方薬の薬出している所も多いのでしょうか。
	本人に対して効き目が遅いのでどうなっているかわからない。
	あまり効目がおそく、使用するの中止にした
	長く服用して、症状がゆるやかに改善されてくるイメージ。他1件
	漢方薬は昔の人の薬だと思っていましたが、現在自分が使用して始めてすぐに（頭痛薬）みたいに速効性はないが、なぜかゆっくりだけど体には良いと思います。
	漢方はすぐに効果がでないから飲みたくない。もし良い薬ならもっと日本でも広まるのではないか。
	体に優しく、自然な物から作られているかなというイメージです。治りはスローだが、体に効き目はあるのかなという思いです。
	早く効き目があれば大変よいと思います
	効果について即効性ないので今一なのも穏やかな（長い目でみて）効き目は良いと思う
	副作用が少なく効き目は遅く時間はかかるが病院の薬と比べたら比較的安心して続けられるというイメージ。
	効めは薬より遅いと思うがいろいろ内臓の負担を考えると漢方の方がいいと思う
効果弱い	効果が弱い 他4件
	効き目は弱いが長く飲むと効果が出る。
	あまり効かない 他1件
	長期間継続しなければならない 効き目が弱い
	効き目が弱い。合う、合わないがある。
	効き目を実感しにくい。個人で選ぶには、本当に体質に合っているものを選ぶことが難しい、続けにくい。

6位	体質改善
	体質改善　他34件
	体質を改善してくれそうなので、興味はあります。
	体質を考慮して取り入るものと思う
	「良薬は口に苦し」 体質から変えていける点が良いと思う。
	飲みつづけると体質によい。
	身体の中から良くしてくれる。
	からだ本体の治癒力を高める　他1件
	漢方薬に対して悪いイメージはない。体質に合った物だと、体質改善にもつながるイメージ。人に聞いただけの知識なので、本当のところは良くわからない。
	西洋薬は、基本的に一成分一効能に対し、漢方は、ホメオタシスの改善に働くので、一処方で付随する諸症状を緩和できる点が良いと思う。
	漢方薬は選ぶのが難しいと思います。体質を改善できることから長い目で見るととても有効なので、もっと情報提供し、使用しやすい環境を作るべきだと思います。
	基本的に医者の薬がきらい。時間はかかっても根本的に改善できる
	効果が現れるのに時間を要するが、体質そのものを改善してくれる薬として認識している。最近、インフルエンザの治療薬として処方している医師もいるようだが、まだまだ、イナビルにはかなわないと考えている。
	症状をおさえるのではなく、根本から治していく。他1件
	健康時に疾病の予防と日頃の健康増進に良いと思います。
	自然治癒を促すイメージなので、もっと浸透してほしい。
	自分の免疫力UPのために主に考えている。
	体質にあえばすごくよく効くもの。
	体質に合っている薬を適正に処方してもらい、組み合わせについても安心感がある。
	体質改善、長時間続けて元から治療するイメージ。漢方薬は手に取りにくいイメージもありドラッグストアでも経験豊かそうな薬剤師さんの勧めでないと不安。店頭でのPOP等を見易く、分かり易くしていった方が良いと思います。
	中国8000年の歴史による人体に緩やかに良い効果をもたらす薬。
	長期的な体質改善や病気治療には有効かと思います。医師や薬剤師への相談の上服用することを知らない人も多いのでは…と思います。
	天然の材料で作られており、体全体の調子を整えることで病気を治していくというイメージがあります。
	病気を治す目的だけでなく、体に良く（キレイに）してくれるイメージがあります。「薬」というほど重いイメージはなく、とり入れやすいイメージがあります。
	薬と言うよりは、健康促進剤に近いイメージ、体質改善をし、回復させる等。

7位	難しい
漢字	読み方が難しい　他2件
	難しい名前、同じような名前ばかりでわかりにくい。 ・バファリン、ベンザブロックなどのように商品名にしてほしい
	漢字が読めない。
	薬名、漢字がむずかしく覚えづらい。にがくて飲みづらいイメージで、積極的に服用したいとは、思わないのでもう少し飲みやすくなると良いかなと、思いました。
	漢字が難しくて商品名が覚えられない。商品名が思い出せない時にすぐ購入できない。漢方薬というと中国というイメージがある。

選択	選定が難しい　他3件
	難しい。どれを選んだら最適かがわかりにくい。最適なものを選択できれば良い。
	自分ではなかなか選びづらく、あまり効かないイメージ。
	体質によって、病名は一緒でも使う薬が違ったりとヒアリングが重要で種類が多く、難しい薬です。
	説明するのが大変。体力の程度や主訴から薬を選ぶのが難しい
	自分で選ぶのが難しい。薬店にも、専門家がいてほしい。
	効き目を実感しにくい。個人で選ぶには、本当に体質に合っているものを選ぶことが難しい、続けにくい。
漢方薬自体	難しい　他16件
	漢方薬の範囲が広い。
	専門知識が必要なイメージ
	もやっとしてよくわからない
	良いものだが種類が多く分かりにくい
	証が難しい
	よく効く、成分がよくわからない
	正真、信用していない、表記が曖昧で症状がどれに一致しているかわからない
	配合成分全てあわさって1つの効能になるのかわかりずらい
	効果、効能がよくわからない　他1件
	色んな生薬成分が入っているので難しい。1つ1つの成分の効能が分かりやすいといい。
	西洋薬と違い、適したものを選ぶのは難しいイメージ。
	漢方は種類がたくさんあってよく分からない。
	正直、種類が多く効果も多岐にわたるので難しい。継続が必要と感じる。
	漢方は成分が複雑で、接客する機会も少ないので知識をとり入れるのが難しい。また、副作用が少ないとはいえ妊婦の方など飲んではいけないものもあるので注意しないといけないと思う。
	どうして飲んでいるのか、今ひとつ理解していない　先生の説明が良くわからないので続けていくべきか迷っている。新薬よりは、副作用少ないのかもよくわからないが続けている現状である。
	普通の薬との違いが分かりにくい。たくさん種類があって、何をどのような場合に飲むのか分かりにくい。
	まったく知らず病院にて友の話で聞く事になり、少々関心を持ちました　機会を作り、先生に相談してみようとも思っていた。副作用等の点、合う合ない等のみきわめ方等、難しいと思う。
	個人差が効果に表われるのは、西洋医学も同様だが、十分に検証されたデータなどOPENになっているのか、人間の身体性や精神性には不明な点は多いと思うが、漢方薬よりは説得的である。多くの場合西洋医学の薬と漢方薬を併用しており、漢方薬の単独の効果を定めるのは難しいと医師から聞いたことがある。
	漢方薬は、自分にあっているのかどうなっているのか飲み方があっているのか
	大昔からある。調合が難しい
	内容が不明で、わかりにくい。
	あまり身近になく、難かしそうなイメージ
	使いづらい。わかりづらい。

8位	おだやかな効き目
	穏やかな効きめ　他33件
	西洋薬より作用がマイルド。からだ本体の治癒力を高める
	やさしい効き目
	よく服用しても体にやさしいと思う症状が軽くてもすぐに服用してしまう。
	個人では選択しにくい（効能が分かりにくい）　ゆるやかな効果　病院で処方されるもの（専門性の高い人から）
	効き目が穏やかなので良いと思う。私は實母散で婦人病には苦労がなかったが一
	今使用している桂枝加朮附湯のお陰でおだやかに過ごしてます。これからも安心して使用していきたいと思います。
	西洋の医薬品に比べ、作用が穏やか。人の智恵と経験（体験）から煎じられ歴史を感じる。
	身体にゆっくりききめが出ると思うしいいのですが、風邪などの場合すぐ効き目が表われか方が安心で、料金的にはどうなのか、又医者で漢方薬の薬出している所も多いのでしょうか。
	作用がマイルドで副作用が少ないので、健康時に疾病の予防と日頃の健康増進に良いと思います。
	体調が良くなっている様な感じはあったが、はっきりした効果が出た訳ではなく、途中で服薬をやめてしまった。効き目が顕著に出ないことが多少マイナスのイメージとなっている。
	ゆるやかに効きそう　他2件
	体に徐々にきいてくる
	胃にやさしく、ゆっくり効き目がある。
	やさしい、正しく使ってほしい、食物だから
	穏やかさ、歴史の裏づけ
	病院処方は強くてこわいのでなるべく飲みたくないけれど漢方なら古来からあるおだやかで効きめのある魔法のような薬に思える

9位	知識がない
	どの漢方をどの症状に使用していいのかわからない　他3件
	どの薬が何に効くか不明
	何を選んでいいか分からない
	正しい理解がなかなか得られにくい。どこで聞いていいのかわからない
	よいのですすめられたら飲んでみたいが自分では選べない
	悪くない、こういうの飲みたいと思ってもどこで売ってるのか分からない
	良くわからない。他4件
	あまり使った事がないのでわからない　他1件
	今まで一度も服用したことがないので試してみたい気持ちはある。友人が使っていて値段が高いというので相談したことはない（薬局で）
	漢方薬の知識なし　他2件
	漢方薬について知りたいと思うがなかなか知識を得る機会がない。
	知識があればとても効果があるもの。
	漢方薬は複雑な効果があるので、専門的な知識が必要だと感じます。
	自分に合った漢方を選ぶとよく効くイメージだが、専門的な知識がないと選べない
	学術知識は難しい
	身近かな薬草に関する知識がない。
	漢方薬の知識が少ないのでしっかりと勉強する必要があります。
	体に合う漢方をオススメできる知識量があれば、個人的には接客時積極的にオススメしたい。他2件
	上手に使えば健康にすごせると思うのですが、なかなか処方漢方以外は手が出ないのは、漢方は薬なのか、大衆薬なのか、サプリなのか薬剤師もどの位知識をもっているのか、どのような副作用があるのか…薬に位べ

知識がない	自然の薬ということで良い感じはするのですが、確か副作用もあるような気がしたのは間違いかも知れませんが、その辺で少し不安があるかなといった感じです。
	もっと気軽にのめて効果が出るもの値段が高い　副作用がでること知らなかった　効果があるならもっと使いたい
	知識をしらないので　自己判断でのめない。
	処方された薬が自分に合っているのか分からない。医師の説明不足。
	広報不足、情報提供不足
	薬草に関する知識を持たなくて飲用することへの危険を感じることと、複数の薬の飲みあわせにも不安を覚えるのですが、一方的な思い込みかもしれません。
	漢方薬は、その病状や体質に合っていれば、効いて安全で良いが、誤って使用すると副作用が出たり、効かなかったりするので、むやみに安易に使用はできないが、合えば、とてもよいので、ちゃんと処方できる教育がされれば、もっと広がると思う。
周囲	知識を持ってる人が少なすぎる。
	周りに知識がある人が少ない。
	医師の知識が少ない。
	薬剤師の知識がせまい
	専門知識を持っている人が少なく、アドバイスが難しい。西洋の薬と違って、ハッキリしない。
１０位	**長期間服用**
	長期間継続しなければならない　他２３件
	当てはまるかどうかを判断するのに時間がかかる。
	長期使用しなければならないので大変
	長い間飲み続けなれれば効果が出ないので苦手。
	効き目が弱く、長く続けてゆっくり治療するのに向いてるイメージ。
	長く副用すれば効果があるのかも知れないが即効性はない。妊婦には（使えるので）良い。
	長期的に服用することによって体質改善が図れるなど、良いイメージはあるが、しっかりとした知識を持った方に処方してもらわなければ危険な面もある。
	どこも悪くないと云ったら、うそになるが血圧が高く降圧剤が飲んでいるので長く飲用しなければわからないので飲みたくない。医師の薬で良いと思う。
	長期服用するのであれば、農薬等を使っていない安全な物を使用したい
	処方され、継続して飲む期間が長くなる為どうにか効めを良くして頂き短期間に少しでもなると良いかと
	のんでも長く期間がかかりすぎる
	長期服用してようやく改善が見られるような、除々に効いてくる
	半信半疑、長く飲まないといけない
	イメージ＝副作用がなく体質改善する。常時長期服用。保険が効かない。西洋医学との対立。意見＝西洋医学と併用共存させ保険適用する。
	長く服用して、症状がゆるやかに改善されてくるイメージ。

１１位	体質にあえば効く
	体質が合えばよく効く　他6件
	症状が合う時は良く効く。
	効く時は本当に良く効く（葛根湯）
	その人の体質に合うと、少ないリスクで、西洋薬以上の効果が期待できる。
	体質に合えばとても良いが合わない場合もあるので慎重に選ぶべき
	個人の体質に合わせて処方されるため、体質に合えばとても良い効果が期待できるが、合わなければ全く効果が見られなかったり副作用が出る可能性があり注意が必要。また、服用による効果判定も難しい場合がある。
	効く人には効くが、効かない人には全く効かない　他2件
	体質によって合う、合わないがある。他1件
	使い方がマッチするととても良い働きをするがそこまでいくのになかなか行れないこと。
	自分の身体に合った時は快方に向かうのが比効的早い　又長く続ける事が良い様に思う。
	一人ずつ同じ病気でも違う治療を行うテーラーメイドな医療であると思う
	症状や証があっていないと、効果が得られないことがあるので、漢方にくわしい人がアドバイスを通じて販売できる環境がととのえばいいと思います。
	漢方薬は個人の体質に合わせて処方されるので、その人に合った治療ができる。他1件
	個々の症状に合わせて選択し治療できる
	オーダーメードなので安心
	塗り薬も併用しているので、漢方薬が100%ではないと思うが、子供のアトピーは、赤ちゃんの時よりも確実に良くなってきているので、漢方薬は良いと思っています。体質に合っている様でとても苦くておいしくない漢方薬も毎日、嫌がらずに飲んでいます。
	副作用もあまりなく、体質に合わせて使えるようなので、常々使用したいと思っていますが、近くには漢方の専門医がいなくて、なかなか利用するまでにはいかずとても残念です。
	同じ病気（病名）でも、人それぞれ体質や症状が異なるため、西洋薬だけではうまくいかない場合、漢方薬も積極的に取り入れるべきだと思います。または、漢方薬だけでよい場合もあると思います。
	漢方薬は、その病状や体質に合っていれば、効いて安全で良いが、誤って使用すると副作用が出たり、効かなかったりするので、むやみに安易に使用はできないが、合えば、とてもよいので、ちゃんと処方できる教育がされれば、もっと広がると思う。
	長い歴史の中で、各個人の体質に合わせて日常生活の中で、服用・調合されて使用されている。

12位	漢方を取扱う医療機関が少ない
	漢方の医師が少いもっと漢方を増やした方が良いと思う。
	漢方薬は良いと思いますが余り漢方薬を出す病院もないです。
	西洋の薬では対処できない症状に対して効く場合がある　ただ漢方薬について勉強している医師はまだ少いのが実情だと思います。漢方薬の知識を持つ医師が増えてほしいです。
	副作用もあまりなく、体質に合わせて使えるようなので、常々使用したいと思っていますが、近くには漢方の専門医がいなくて、なかなか利用するまでにはいかずとても残念です。
	先生が出してくれれば飲むと思う
	病院で保険のきく漢方にかかっていましたが、全然良くなりませんでした。中医の先生にしっかり処方してもらってはじめて、漢方が効くことがわかりました。もっと、本物の中医のドクターがたくさんいればと思います。
	けっこう西洋医学としての薬より東洋医学としての漢方薬の方が、なじみがないし、専門外来も少ないため病院としての薬の処方が、まず薬だけのため
	病院で使われるものであれば→使ってみたい　自分からわざわざかわない
	病院からの処方せんだと、処方通りに飲んで先生と相談しながらですが、漢方薬を処方する先生は、少ないように思います。お店（漢方薬を扱っている）だと値段が高いイメージをあまり効目がよくない。
	身体にやさしく効くイメージがあるがとっつきにくく値段も高そう。高血圧に良い薬があれば飲んでみたいが今受診している医療機関からは処方されそうもない
	多くの医療現場での使用を希望しています。一般薬（保健薬）と漢方と両方をぜひ希望するものです。現在、そのような医師をどのようにさがせばよいか･･･
	一般の病院では漢方薬は出してもらえない選択できればと思います。
	漢方薬専門の薬局をあまり見かけない
	薬剤師や医師が漢方についての情報提供を積極的に広めないと、世間に知ってもらえないと思う。

13位	もっと利用すべき
	歴史的に培ってきたものを大事にすべき。
	もっと利用すべき　他4件
	もっと利用しあうべき。歴史的遺産
	もっと広めてほしい
	同じ病気（病名）でも、人それぞれ体質や症状が異なるため、西洋薬だけではうまくいかない場合、漢方薬も積極的に取り入れるべきだと思います。または、漢方薬だけでよい場合もあると思います。
	自然治癒を促すイメージなので、もっと浸透してほしい。
	多くの医療現場での使用を希望しています。一般薬（保健薬）と漢方と両方をぜひ希望するものです。現在、そのような医師をどのようにさがせばよいか･･･
	医療機関で多く使われるとよいと思います。他1件
	もっと代替療法としてどんどん使ってほしい。西洋医薬は基本は毒であると思います。
	中国で長い間使われてきて、今も使われている漢方薬はもっと見直されていいと思う。
	体を総合的になおす、たてなおす薬　ドラッグストア、薬局等でももっと知識をもった方が増えて、普及していくとよいと思う
	医師ももっと勉強して使ったら良いと思う

13位	西洋薬との関連
併用	西洋医術と漢方薬をうまく併用することが大事と思う。
	予防のため、他の薬と一緒に使う
使い分け	薬の選択の1つ。漢方薬でしか対応出来ない時など。
	西洋医療では対応できないものを、人に合わせた処方で対応できるが、急性症状に対しては対応できないイメージ。
	漢方とOTCをうまく使い分けることでセルフメディケーションの向上につながると思うので、どちらかだけの専門でなく両方のメリットをしっかり理解する必要がある。
	同じ病気（病名）でも、人それぞれ体質や症状が異なるため、西洋薬だけではうまくいかない場合、漢方薬も積極的に取り入れるべきだと思います。または、漢方薬だけでよい場合もあると思います。
	薬草に含まれている良い成分を適在適所に而も西洋医学も考慮に入れて両者の良い処を利用すべき
その他	どの西洋薬でも治せないものが治ったりする
	その人の体質に合うと、少ないリスクで、西洋薬以上の効果が期待できる。
	うまく使えば西洋薬よりも効く！
	悪いものとは思っていないが、詳しく知って、効用、副作用、用量を良く消化している医師・薬剤師等の人が多ければ安心のような気がする。西洋医学に対してマイナーのイメージがある。医薬品に対して漢方には臨床データとか、国の承認とかがあるのかも知りません。
	コンプライアンスが続きにくい。西洋薬で対応できない症状が改善する。
	個人的には西洋薬とはちがうアプローチをするので良いイメージ。ただ、一般的には好ききらいがけっこう分かれていると思う。少しうさんくさいとか…
	民間伝承のようなものでどこまで検証されているかわからない。西洋医学で見放された時、頼るのが漢方薬飲んで祈祷を受ける
	中国数千年の伝統はあなどれない　日本でも西洋医学が入るまでは使われていたのだからそれなりの効果はあると思います。西洋、東洋それぞれ“いいとこどり”で取り入れたい　しかし、他人からもらったり聞いたり話しだけで勝手に自分で服用するのは避けた方がいいと思います。
	昔から使用されている西洋薬なら副作用少ない
	西洋医学のみでは、片手落である

15位	情報が少ない
	今後、もっとPRにつとめると良いと思います他2件
	もう少し身近にあれば使用する機会も増えると思うのでたくさん情報を提供して欲しい。他1件
	漢方薬についての正しい知識を得るために、正しい情報を公表して欲しいと思います。
	薬剤師や医師が漢方についての情報提供を積極的に広めないと、世間に知ってもらえないと思う。
	広報不足、情報提供不足
	良いイメージがないのは、一般的に知られていないからだと思う。
	安全性をもっとアピール
	副作用についての情報が少ないと思う。
	副作用とか飲み合わせとか、悪い作用もあるならアナウンスをしてほしい。
	漢方の原産地等がはっきり記入されていると良いと思う
	薬局に漢方専門の人置いてほしい
	悪くない、こういうの飲みたいと思ってもどこで売ってるのか分からない
	使ったこともないし、周りにもいない

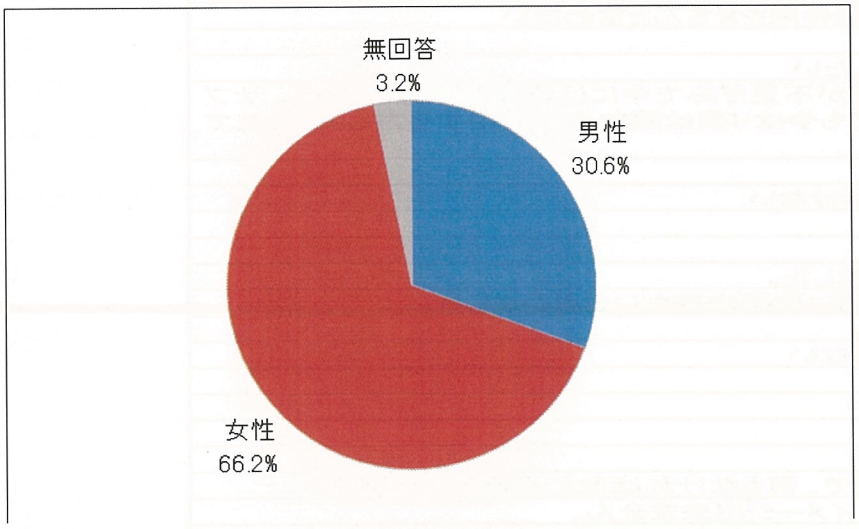
16位	効果がわからない
	効果があるのかよくわからない　他3件
	効果がいまひとつ明確でないイメージ　他3件
	漢方薬を使用した結果が解からず風邪など直っているので体にいいのかどうか微妙である。
	イメージでは薬ではない、効果がわからない。効いているかもわからない。あまり良いイメージがないのは、一般的に知られていないからだと思う。
	体にやさしい分、本当に効力があるのか少々、不安になります。
	漢方薬は体質によって処方されると言うが自分の体質が分からないのに他人が決めるのが不安である
	治療のための薬、というより、軽いうちに症状をやわらげるとか予防的なものと思っています。
	孫が、アレルギーのため2年程服用しましたが、ききめがあったかどうか不明です。
	本当に体にあっているのかわからない。難しい、医師が漢方についてわかっていない（何の漢方を出したらよいか）
その他	身近ではない
	あまり身近にない
	日常生活に漢方薬を使用する機会があまりありません。他1件
	あまりに身近でないので少し興味を持った
その他	説明不足
	イメージは悪くなく使用してみたいです。副作用などくわしい説明をしてほしいと思います。
	まだまだ副作用がないという認識の方が多いと思う。副作用についても充分に説明されるべきである。
	処方された薬が自分に合っているのか分からない。医師の説明不足。

その他　良い意見
治療の幅は広い方がよい。
万能なイメージ
体全体を治していくイメージ。
薬を少なくしてくれる
西洋医薬も早く効果があり、手に入り安いが頼ってしまいそう。漢薬も同様。できるだけ避けたい生活をして行きたいなと思っています。どちらを選ぶかという場合、漢方薬かなと、今は思っいます。
正しく使用され、適正な評価を期待
日本人に合っていると思う。
自分には合っていると思う
これからも使用したい
イメージは良い。他1件
あまり悪いイメージは持っていない。
元気が出るイメージ
よくラジオで病気に効果がある
思った以上に良く効く。
正しい使い方をすれば正しい効果が現われる医薬品であると思います。他1件
症状により、効果が期待できる。
西洋医学にはない効き目のある薬
自然の理にかなった効き目があると考えられる
漢方は信用してる
よい症状をもらたらす
身近　他2件
対処療法ではなく、症状の根本原因に効き目があるのではないかと思う。
最初は効き目があると思っていなかったが使っていると100%は改善しないが使用前より良い状態になる
使い方によって、良くも悪くもなるけれど、合えば長く続けられるイメージがあります。
漢方薬のイメージは、いいイメージがあり、他の症状で、使いたいと思っています。

薬食同源、自然との共存
自分の症状に合わせて選べる、1つの症状だけでなく、いろいろな症状に効いてくれるので体が楽になる。病院の新薬は続けて飲みたくない。
通常の薬とあわせて効果的に使っていければいいと思う。
ちょっとした不調の時などに気軽に使えるとうれしい
自分と同じ症状の人で、もし漢方が効いた事例があるのであれば知りたい。試してみたい
漢方薬にも副作用があると知り、興味深かった。
できる事から漢方薬で治したいと思う程、漢方薬に期待している。
どちらかと言うと利用している方なので、良いと思う。
近年病院でも、使用している様で良いことだと思います。
登録販売者として、接客をする際、漢方についての自己啓発が重要という認識を常にもっています
漢方という気軽なイメージがあるが、薬であるという意識をもって、取り扱いたい
病気治療に必要な場合は使用するかもしれません
イメージは、根気と信念
有効性は奥深いが、うまくとりこめきれていない薬事の領域というイメージ。・ドラッグストアとしての差別化ができる数少ない領域。
漢方部なので医療に必要だと思う。
インターネットでも自由に買える様柔軟な運用を希望
軽るく自分なりに、決めず医師・薬剤師に相談すると良い。
自己判断だけで漢方薬に頼らず医師の意見も取り入れる。
エビデンスがあるものは使いたい。
自分にあえばすばらしい薬になるが、見つけるまでに時間とコストかかる。
勧められれば飲もうかな？
効果はあるが、売っていない
もともと薬は両刃の剣！使い方次第だと思う！
徳川時代から使用していた葉の効用　胃腸の弱い人は良いクスリと思う
自然の材料を使っている、古くからある。他1件
昔両親が飲んでいたので
天然自然の材料、昔からなじみがある
長年の経験と知恵から生まれたすばらしいものなので、適切に使用して充分な効果を得られると良いと思います。
昔からの処方で安心して出来る感じ
眠くならない
肌あれをなおしたり、美容にも効く。
慢性的な疾患に効果があるイメージ
細かい症状に応じて対応することができる。
昔から利尿剤にどくだみがよいと云われているので足のむくみとかに煎じて飲みました。
40代の息子がとつぜん頭髪が全部ぬけ丸坊主になり病院の薬と漢方薬で3年すぎの今では良くなりつつあります
「ハナ汁が出る」だけでくれる薬があるとは知らなかった。もっと内容を詳しく聞く必要があるのに…
体質の弱い人、抵抗力のない人は良いと思う　肌の弱い人
自家製どくだみを使っています
葛根湯は、とても体に合っているように思い、常備しています。鼻かぜ、腹痛など、葛根湯以外の漢方薬の方が効きそうに思うが、まず、葛根湯を飲んでしまいます。
風邪の引き始めや胃の調子が悪くなり始めた時、一時服用して効果があった。

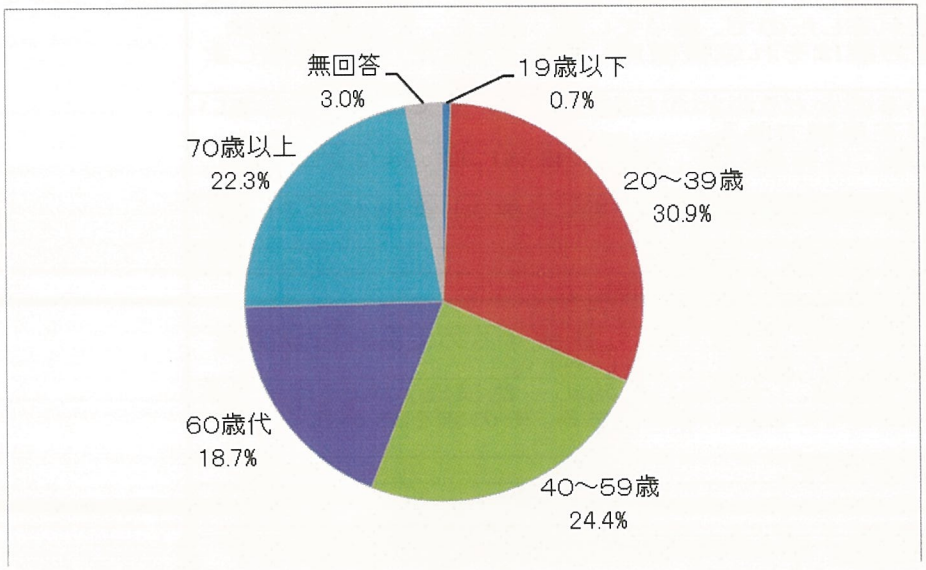
その他　否定的な意見
中国のイメージで少し怖い
中国産の材料がほとんど。副作用をきちんと言わない
中国
薬材が国産であれば利用したい
近年は薬に使用する薬草等が不足ぎみで中には粗悪品もあるという。サプリメントとして使用するにしてもやはり薬は薬なので使用する方もよく考えて使うべきだと思う。
手を出しにくい　他1件
錠剤を大量に飲まなくてはいけない
漢方薬は嫌いです
使いたくない
若い時でしたから今はやめました。
漢方薬だからといって全面的に信用出来ないと思いました。
効果をあまり信用出来ない。
医者の出す漢方は信用できない
あまり実がないこと
わざわざ使おうとは思わない
気軽に使用出来ない。
強いからあまり使いたくない
薬は必要がある時に飲む物で、何もなければ飲む必要はないと思う。
継続して服用経験がない為イメージ出来ません。
あまり考えたことがない。
サブ的な役割
何もいない事が不安な人の穴うめ的な薬
未解明の部分が医薬品成分より多そう。
あたり、はずれがある。
西洋薬と比較して個人差が大きいイメージがあります。ですので、なかなかおすすめしにくいです。
あうとよいがあわないと怖いもの
合うかどうか、むずかしい
正しく使えばよりよい効果が出るが、その逆もあるのが強くイメージされる
漢方薬を体質に合わせて調合出来る人が少ない事と何を使っているかわからないのでこわいイメージがある。
安易に手を出すべきではない薬。しっかりと症状を見極めることが必要。
自分に合っている漢方薬を見つけるのが大変。通常使用している一般的な葛根湯などは安心して使える。効果を実感しているから
病状がひどくなった時に処方して下さった方にお話したら、「あら合わなかったのね」の一言ですまされましたので、懲りてしまいました。その後の病状改善が大変でした。（漢方薬はそれ以後使用しませんでした）今は完治しました。
使用していてもきいているのかどうかわからない事がいやである。飲んでいても病気にはなることが不思議である。
症状が軽い、初期の治療には有効だが、重症の症状には、ほぼ効かないイメージがある。
エキス製剤は手軽に服用できて良いと思うが煎じる薬より薬効が劣るのではないかと思っている
毒を持って毒を制する
お薬と同じ効能、効果があるのでお薬同様恐い。
お勧めに困る,気軽に飲める。セルフでは選びにくい。
OTC薬剤師、登販者には販売して欲しくない。販売するのであれば漢方を専門的にしている薬剤師のみに販売してもらいたい。
漢方は基本的に随証治療だが、「カゼのひき始め→葛根湯」のようにそこまでその人の証をしっかり見なくても良いものもある。その線引きが良く分からない。
暗くと古くさいイメージがあります。
昔昔の薬
古いイメージ
昔ながらの“熊のい”“毒掃丸”の名前は知っているが、服用はしていません
ストレス、寝不足が原因と云われた。
現代の進んだ医学の中で、これから漢方薬が主役になるということは考えられない。しかし、3000年の歴史を持つといわれる漢方医学は、人類の貴重な体験と臨床経験をもっている。漢方医学はある意味でバランス医学でもある。右に20°　傾いた体を漢方独特の手法やモノサシを使って元の位置に戻してやる。
保険が使えなくなる話題が出てから急に熱心に宣伝している　・歴史に甘えてきた体制がある
主人が前立腺ガンで亡くなっていますがその間漢方をずいぶん服用しましたが効果はありませんでした。その経緯があるため漢方は信じがたい気がします。

Q１８．性別



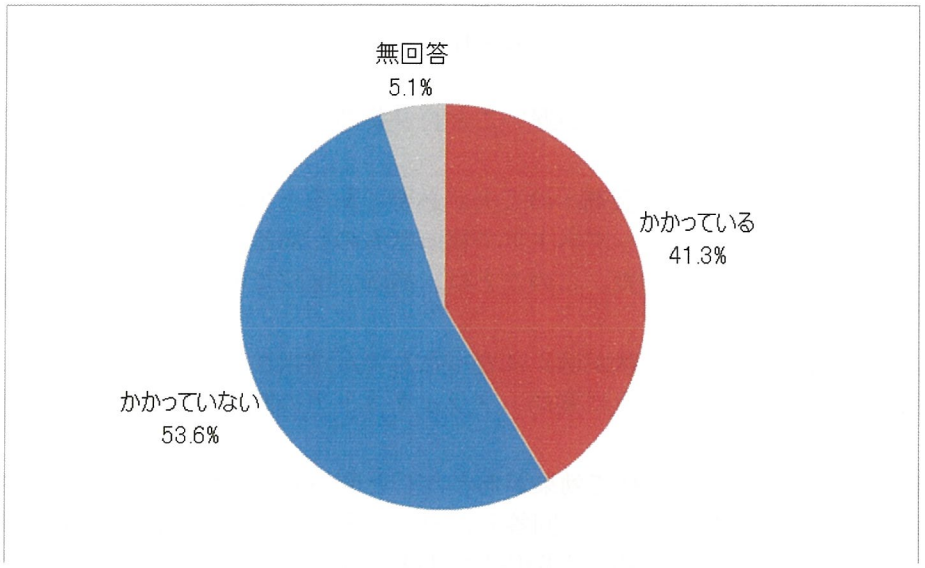
No.	カテゴリ	件数	比率
1	男性	463	30.6%
2	女性	1000	66.2%
	無回答	48	3.2%
	有効回答者数	1511	100.0%

Q19．年齢



No.	カテゴリ	件数	比率
1	19歳以下	10	0.7%
2	20～39歳	467	30.9%
3	40～59歳	369	24.4%
4	60歳代	282	18.7%
5	70歳以上	337	22.3%
	無回答	46	3.0%
	有効回答者数	1511	100.0%

Q20. 現在、あなたは定期的に医療機関にかかっていますか?



No.	カテゴリ	件数	比率
1	かかっている	624	41.3%
2	かかっていない	810	53.6%
	無回答	77	5.1%
	有効回答者数	1511	100.0%

漢方薬について興味関心が「ある」の回答者について、医療機関への定期的受診についての回答を見ると、定期的に「医療機関にかかっている人」が 45.7%、「かかっていない人」が 49.0%であった。

また「どちらともいえない」との回答者では定期的に医療機関に「かかっている人」が 36.8%、「かかっていない人」が 61.0%、漢方薬について興味関心が「ない」との回答者では、定期的に医療機関に「かかっている」との回答者が 32.5%、「かかっていない」との回答者が 60.9%であった。「定期的に医療機関にかかっている」回答者の方が「定期的に医療機関にかかっていない」との回答者より漢方薬に対する興味関心が高い傾向であった。

《まとめ》

漢方薬への興味・関心は全体として半数以上は漢方薬について、「興味がある」と回答しているが、「関心がない」・「どちらでもない」を併せると40%あり、無関心とも読み取れる数字となった。

漢方薬の良い点では「天然・自然の材料を使っている」、「比較的副作用が少ないこと」、「病気を治すだけではなく体質そのものを改善する」と回答している。

漢方薬の悪い点では「値段の高いこと」、「効果が現れるのが遅いこと」、「薬剤師などの専門家でないとどの薬を使って良いかわかりにくいこと」となっている。

また、薬の味や使用感が悪いことも挙げられており、製剤への工夫が必要であると思われる。

漢方薬の入手経路については、全体では「薬局・ドラッグストアで買ったもの」あるいは「作ってもらったもの」が「病院・医院から出されたもの」より多かった。このことは、病院・医院での漢方薬処方が積極的に進められていないとも言える。

薬局・ドラッグストアでの購入では、自分の体質・症状が適正に合ったものが選択されているか不明であるが、自己診断、自己判断で漢方薬を選ぶことが無いように薬局・ドラッグストアの販売方法を改善すべきである。

病院・医院からの処方では、「風邪で葛根湯が処方されて効果があった」と回答した。薬局・ドラッグストアでも風邪で葛根湯が販売されており、「効果があった」と回答したが、一方では葛根湯では「効果が無かった」とも回答している。これは漢方薬を選定した理由とも関係しており、全体では薬剤師に相談して購入した方は36.5%しかなく、自分の経験から選んだ、外箱の説明書から選んだなどと回答している。

このように、半数以上は自己判断で漢方薬を選定しており、自分の症状・体質に合っていたのか疑問である。OTC 薬の外箱包装には、単に風邪薬として葛根湯を表示しているが、一般市民が自分の体質にあった漢方製剤を選ぶことができるような情報提供の在り方について今後検証していく必要がある。

また、インターネットで調べて購入した方があまり満足していないことが分かった。インターネットで購入した場合の満足度が悪いのがどこに原因があるか、消費者ニーズを把握するため、さらに調査していく必要があり、その結果を含めてインターネットでの情報提供を改善していくべきである。

医療の場では、病気の治療に漢方薬の取り入れについてはあまり積極的ではない結果となった。これは漢方薬が高いことや、病気になった場合もっと即効性のある薬を求める気持ちの表われであるとも受け取れる。今後、漢方薬にかかる費用と効果について、漢方薬の活用方法などの情報を提供していく必要がある。

漢方薬の副作用情報については全体では55.4%が知っていると回答したが、漢方薬処方時に医師から、漢方薬購入時には薬剤師・登録販売者からきちんと説明を受けていないために、漢方薬は副作用が無い、少ないと思われている原因とも考えられる。医師・薬剤師はもっと漢方薬についての副作用情報を提供すべきである。

漢方薬で副作用が出現した時の対応は、全体では医師が半数以上を占めた。
しかし、医師への相談は多いが、実際には医師から副作用についての説明を受けているケースが少ないため、相談相手としての医師は頼りとなるか疑問が残るところである。中には直接、製薬メーカー、消費者センター、医薬品医療機器総合機構などに相談するケースもある。

漢方薬服用において副作用が出現した場合、誤った使用や症の合致のなさを考慮して評価していく必要がある。先ずは処方薬であれば医師、薬剤師に相談してもらうことを徹底する必要がある。

また、ドラッグストアなどから購入した場合、購入したドラッグストアに相談することをシステム化する必要がある。漢方薬に限らず副作用報告のシステムを医師・薬剤師が患者さん・消費者に伝えておくべきであり、また副作用報告を受けた医師・薬剤師はメーカーやＰＭＤＡに副作用報告をしなければいけないことを自覚すべきである。

漢方薬は継続して服用することが多いため、経済的な判断も行い、患者さんの症に合った漢方薬選択を確実に行い、漢方薬の効果を高めるべきである。そのためには、医師・薬剤師は漢方薬についての知識をさらに習得する必要がある。漢方薬を西洋医薬品と同様に、適用症だけで判断せず、漢方薬の基礎に立ち返り方剤を選ぶようにすべきである。

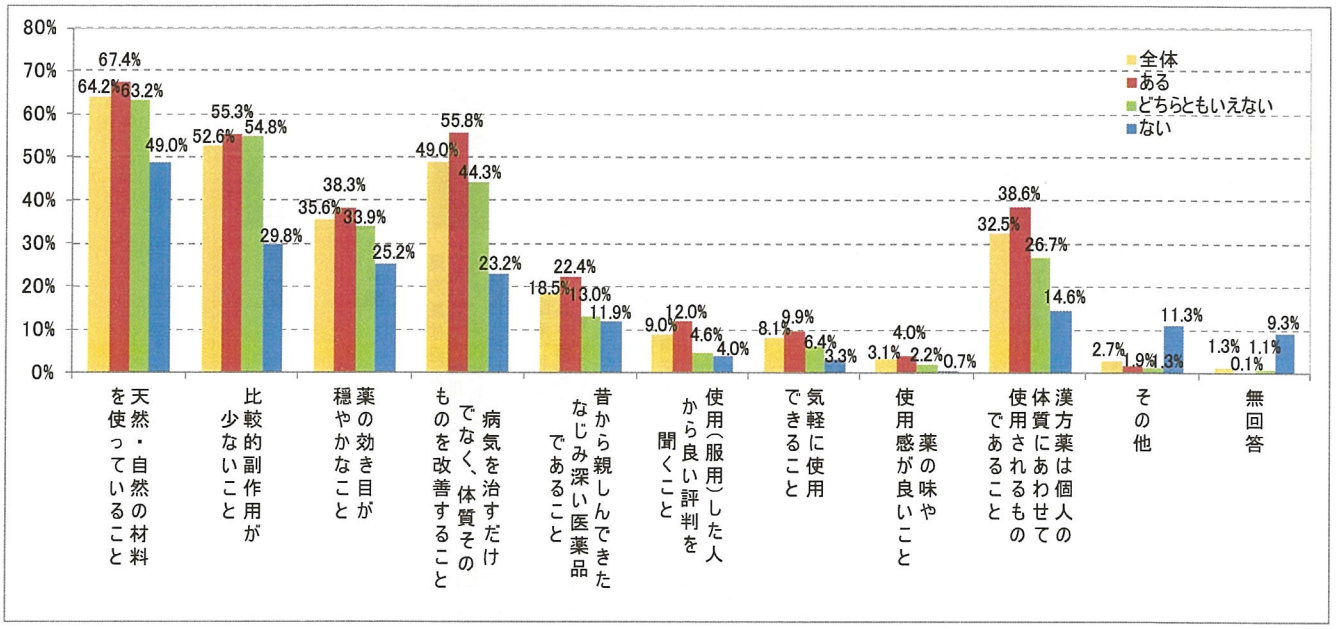
今後、比較的医療機関にかかっている人の割合が多いと考えられる場所で漢方薬についての啓発活動を行う場合は、漢方薬に関する知識を深めていくような啓発活動に重点を置き、比較的医療機関にかかっている人の割合が少ない場所で行う場合は、漢方薬に関する興味関心を喚起するような活動に重点を置くなど、その場に応じて適切な内容を盛り込んだ啓発活動を行う必要があることが示唆された。

漢方薬についてのアンケート調査結果　興味別集計

【調査結果】

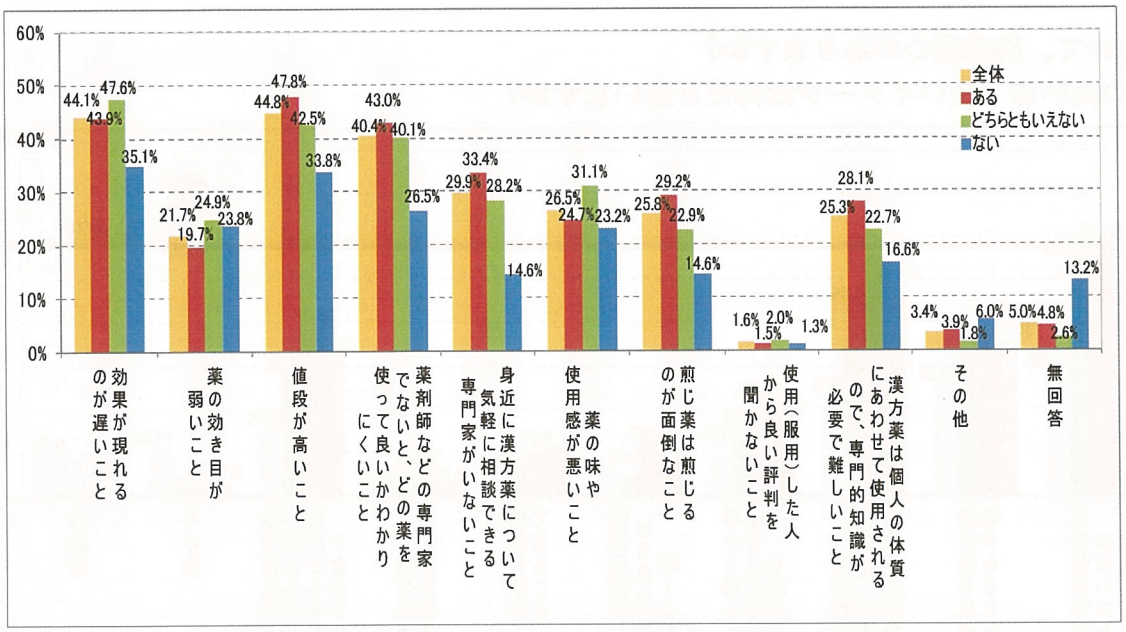
Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか?

× Q2. 漢方薬の良い点・良いイメージは何だと思いますか?



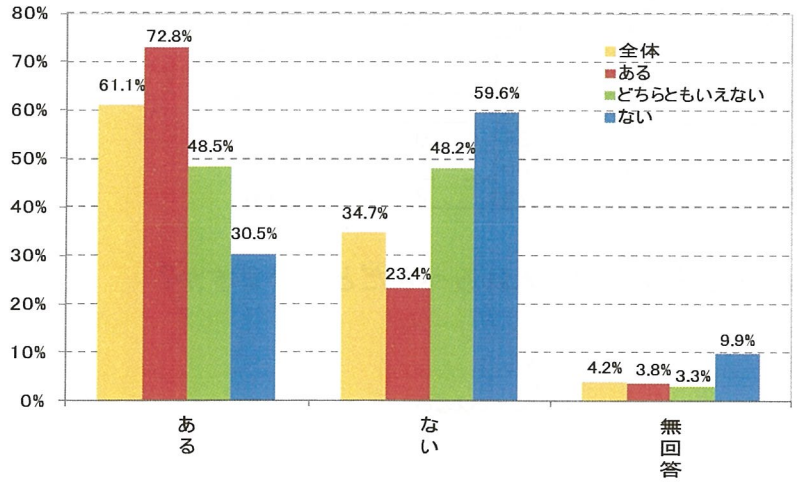
区分		全体	ある	どちらともいえない	ない
全体	件数	1485	880	454	151
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
天然・自然の材料を使っていること	件数	954	593	287	74
	比率	64.2%	67.4%	63.2%	49.0%
比較的副作用が少ないこと	件数	781	487	249	45
	比率	52.6%	55.3%	54.8%	29.8%
薬の効き目が穏やかなこと	件数	529	337	154	38
	比率	35.6%	38.3%	33.9%	25.2%
病気を治すだけでなく、体質そのものを改善すること	件数	727	491	201	35
	比率	49.0%	55.8%	44.3%	23.2%
昔から親しんできたなじみ深い医薬品であること	件数	274	197	59	18
	比率	18.5%	22.4%	13.0%	11.9%
使用(服用)した人から良い評判を聞くこと	件数	133	106	21	6
	比率	9.0%	12.0%	4.6%	4.0%
気軽に使用できること	件数	121	87	29	5
	比率	8.1%	9.9%	6.4%	3.3%
薬の味や使用感が良いこと	件数	46	35	10	1
	比率	3.1%	4.0%	2.2%	0.7%
漢方薬は個人の体質にあわせて使用されるものであること	件数	483	340	121	22
	比率	32.5%	38.6%	26.7%	14.6%
その他	件数	40	17	6	17
	比率	2.7%	1.9%	1.3%	11.3%
無回答	件数	20	1	5	14
	比率	1.3%	0.1%	1.1%	9.3%

Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか?
× Q3. 漢方薬の悪い点・悪いイメージは何だと思いますか?



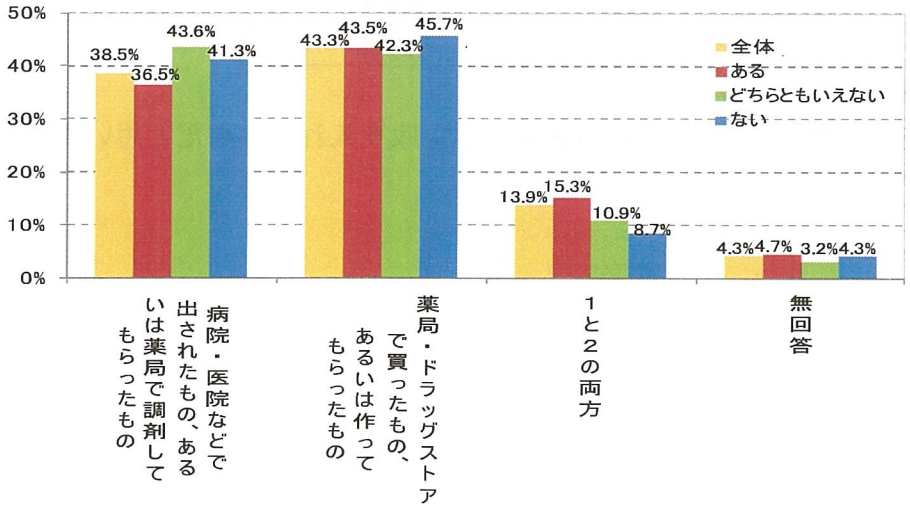
区分		全体	ある	どちらともいえない	ない
全体	件数	1485	880	454	151
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
効果が現れるのが遅いこと	件数	655	386	216	53
	比率	44.1%	43.9%	47.6%	35.1%
薬の効き目が弱いこと	件数	322	173	113	36
	比率	21.7%	19.7%	24.9%	23.8%
値段が高いこと	件数	665	421	193	51
	比率	44.8%	47.8%	42.5%	33.8%
薬剤師などの専門家でないと、どの薬を使って良いかわかりにくいこと	件数	600	378	182	40
	比率	40.4%	43.0%	40.1%	26.5%
身近に漢方薬について気軽に相談できる専門家がいないこと	件数	444	294	128	22
	比率	29.9%	33.4%	28.2%	14.6%
薬の味や使用感が悪いこと	件数	393	217	141	35
	比率	26.5%	24.7%	31.1%	23.2%
煎じ薬は煎じるのが面倒なこと	件数	383	257	104	22
	比率	25.8%	29.2%	22.9%	14.6%
使用(服用)した人から良い評判を聞かないこと	件数	24	13	9	2
	比率	1.6%	1.5%	2.0%	1.3%
漢方薬は個人の体質にあわせて使用されるので、専門的知識が必要で難しいこと	件数	375	247	103	25
	比率	25.3%	28.1%	22.7%	16.6%
その他	件数	51	34	8	9
	比率	3.4%	3.9%	1.8%	6.0%
無回答	件数	74	42	12	20
	比率	5.0%	4.8%	2.6%	13.2%

Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか?
× Q4. 漢方薬を服用したり、使ったりしたことはありますか?



区分		全体	ある	どちらともいえない	ない
全体	件数	1485	880	454	151
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	907	641	220	46
	比率	61.1%	72.8%	48.5%	30.5%
ない	件数	515	206	219	90
	比率	34.7%	23.4%	48.2%	59.6%
無回答	件数	63	33	15	15
	比率	4.2%	3.8%	3.3%	9.9%

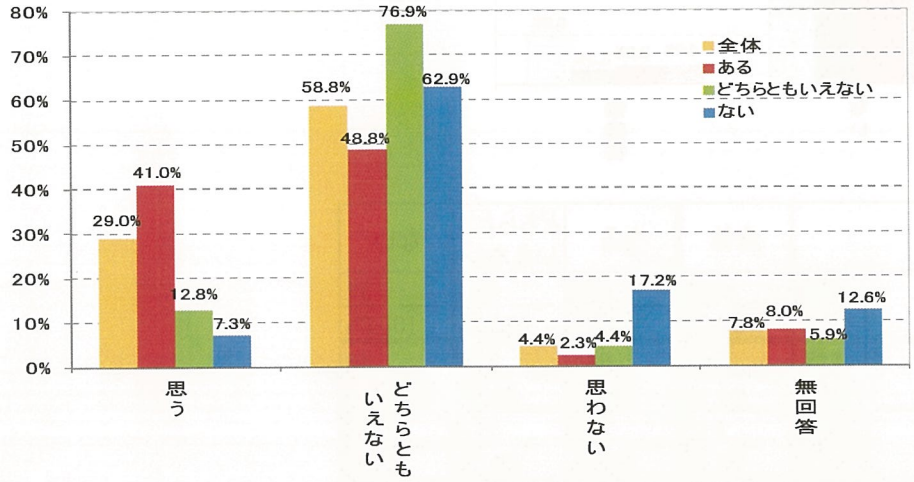
Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか?
× Q6. 漢方薬はどのようにして入手しましたか?（Q４で「ある」とお答えの方）



区分		全体	ある	どちらともいえない	ない
全体	件数	907	641	220	46
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
病院・医院などで出されたもの、あるいは薬局で調剤してもらったもの	件数	349	234	96	19
	比率	38.5%	36.5%	43.6%	41.3%
薬局・ドラッグストアで買ったもの、あるいは作ってもらったもの	件数	393	279	93	21
	比率	43.3%	43.5%	42.3%	45.7%
1と2の両方	件数	126	98	24	4
	比率	13.9%	15.3%	10.9%	8.7%
無回答	件数	39	30	7	2
	比率	4.3%	4.7%	3.2%	4.3%

Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか?

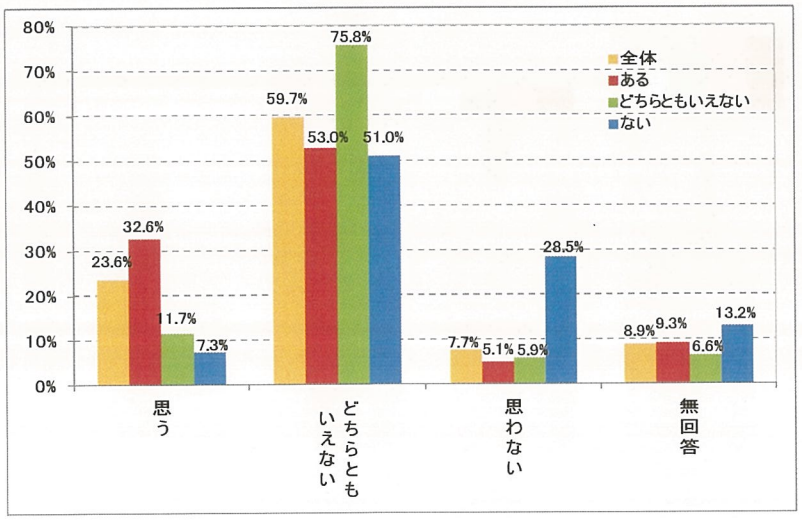
× Q11. 医療の場で病気の治療に、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか?



区分		全体	ある	どちらともいえない	ない
全体	件数	1485	880	454	151
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
思う	件数	430	361	58	11
	比率	29.0%	41.0%	12.8%	7.3%
どちらともいえない	件数	873	429	349	95
	比率	58.8%	48.8%	76.9%	62.9%
思わない	件数	66	20	20	26
	比率	4.4%	2.3%	4.4%	17.2%
無回答	件数	116	70	27	19
	比率	7.8%	8.0%	5.9%	12.6%

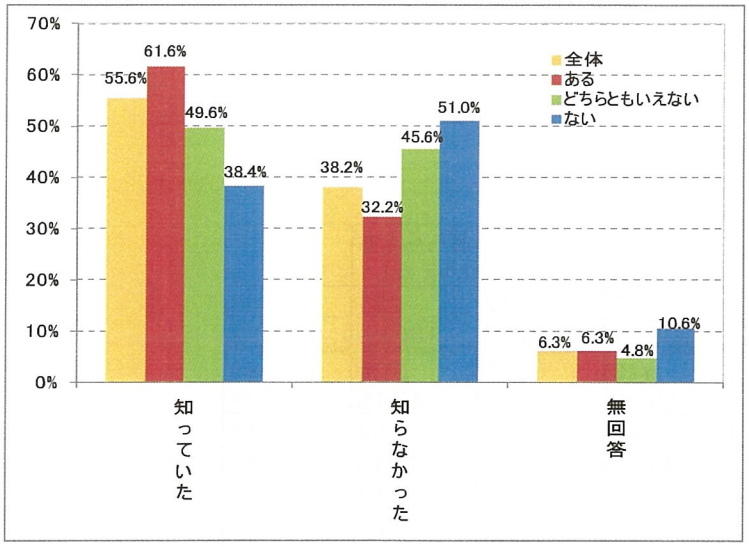
Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか?

× Q12. 日常生活で、より健康を増進するために、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか?



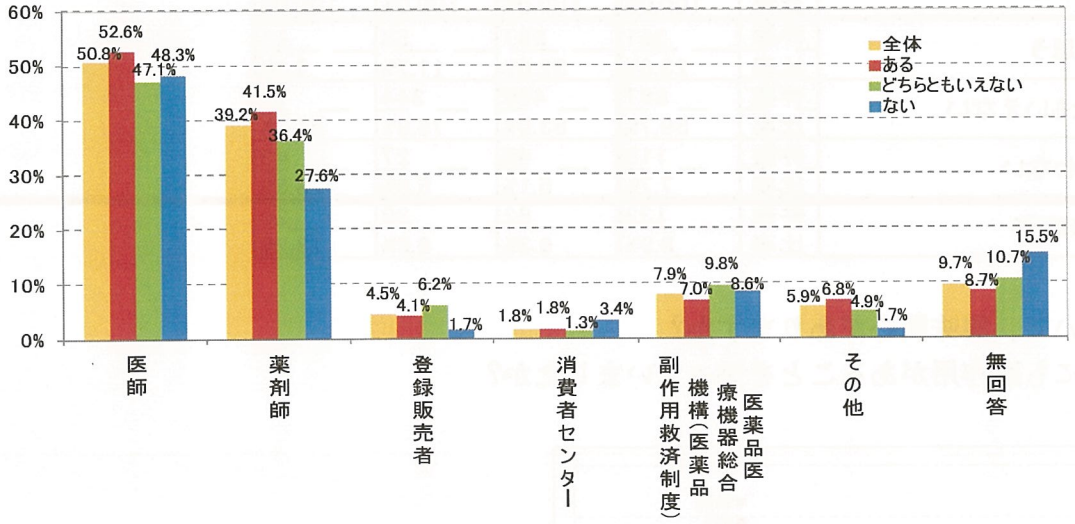
区分		全体	ある	どちらともいえない	ない
全体	件数	1485	880	454	151
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
思う	件数	351	287	53	11
	比率	23.6%	32.6%	11.7%	7.3%
どちらともいえない	件数	887	466	344	77
	比率	59.7%	53.0%	75.8%	51.0%
思わない	件数	115	45	27	43
	比率	7.7%	5.1%	5.9%	28.5%
無回答	件数	132	82	30	20
	比率	8.9%	9.3%	6.6%	13.2%

Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか?
× Q13. 漢方薬にも副作用があることを知っていましたか?



区分		全体	ある	どちらともいえない	ない
全体	件数	1485	880	454	151
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っていた	件数	825	542	225	58
	比率	55.6%	61.6%	49.6%	38.4%
知らなかった	件数	567	283	207	77
	比率	38.2%	32.2%	45.6%	51.0%
無回答	件数	93	55	22	16
	比率	6.3%	6.3%	4.8%	10.6%

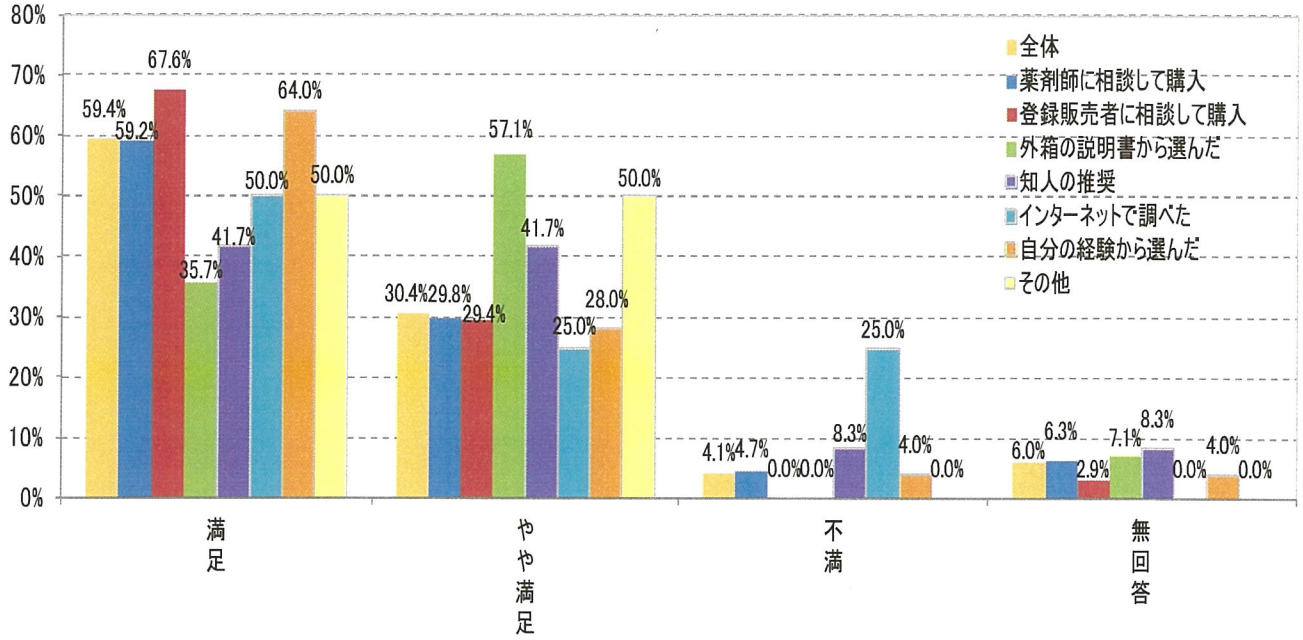
Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか? × Q15. 漢方薬を服用して副作用が出たとき、どこに相談されますか?



区分		全体	ある	どちらともいえない	ない
全体	件数	825	542	225	58
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
医師	件数	419	285	106	28
	比率	50.8%	52.6%	47.1%	48.3%
薬剤師	件数	323	225	82	16
	比率	39.2%	41.5%	36.4%	27.6%
登録販売者	件数	37	22	14	1
	比率	4.5%	4.1%	6.2%	1.7%
消費者センター	件数	15	10	3	2
	比率	1.8%	1.8%	1.3%	3.4%
医薬品医療機器総合機構（医薬品副作用救済制度）	件数	65	38	22	5
	比率	7.9%	7.0%	9.8%	8.6%
その他	件数	49	37	11	1
	比率	5.9%	6.8%	4.9%	1.7%
無回答	件数	80	47	24	9
	比率	9.7%	8.7%	10.7%	15.5%

Q9. 漢方薬を選定した理由は何ですか?（Ｑ６で「2. 薬局・ドラッグストア」又は「3. １と２の両方」とお答えの方）

× Q10. 説明は満足のいくものでしたか?（Ｑ９で「1　薬剤師」又は「2　登録販売者」に相談して購入とお答えの方）

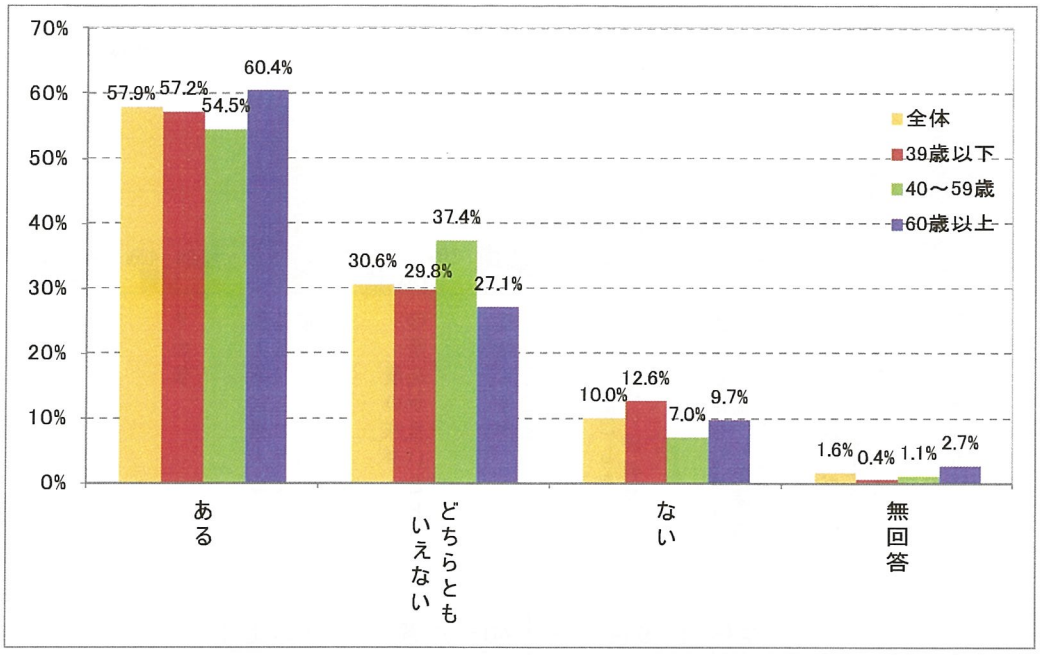


区分		全体	薬剤師に相談して購入	登録販売者に相談して購入	外箱の説明書から選んだ	知人の推奨	インターネットで調べた	自分の経験から選んだ	その他
全体	件数	217	191	34	14	12	4	25	2
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
満足	件数	129	113	23	5	5	2	16	1
	比率	59.4%	59.2%	67.6%	35.7%	41.7%	50.0%	64.0%	50.0%
やや満足	件数	66	57	10	8	5	1	7	1
	比率	30.4%	29.8%	29.4%	57.1%	41.7%	25.0%	28.0%	50.0%
不満	件数	9	9	0	0	1	1	1	0
	比率	4.1%	4.7%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	4.0%	0.0%
無回答	件数	13	12	1	1	1	0	1	0
	比率	6.0%	6.3%	2.9%	7.1%	8.3%	0.0%	4.0%	0.0%

漢方薬についてのアンケート調査結果　年齢別集計

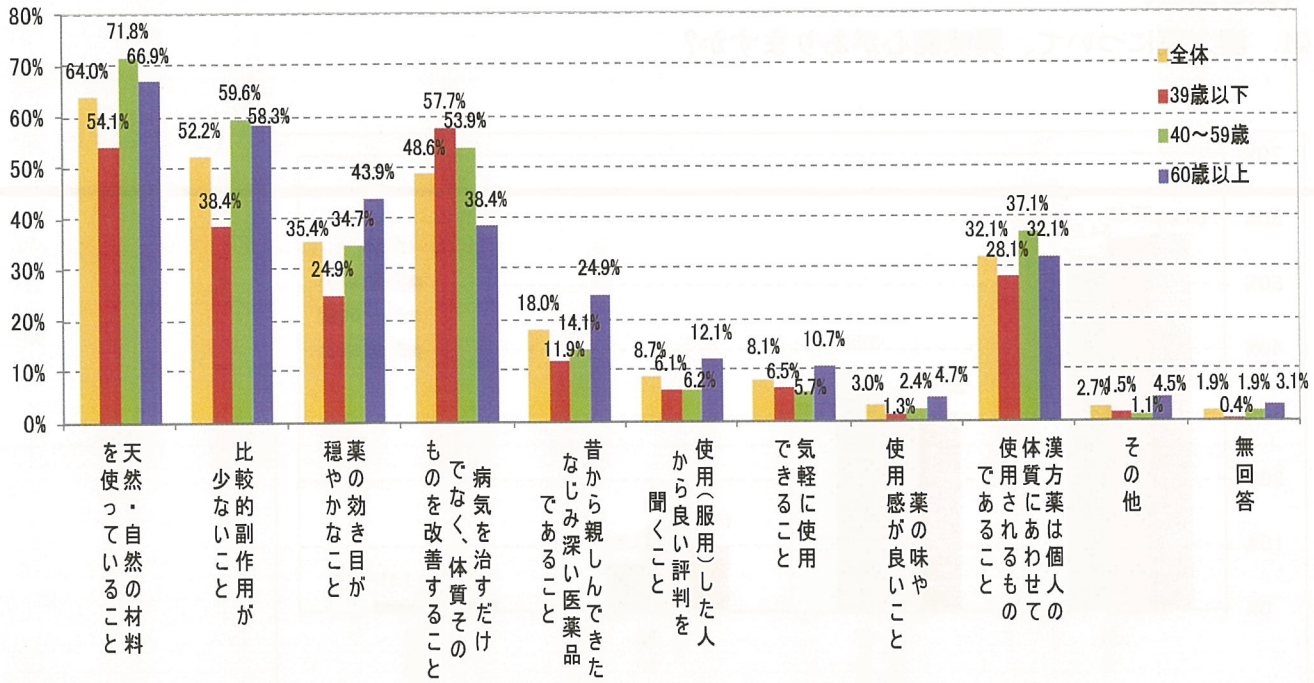
【調査結果】

Q1. 漢方薬について、興味関心がありますか?



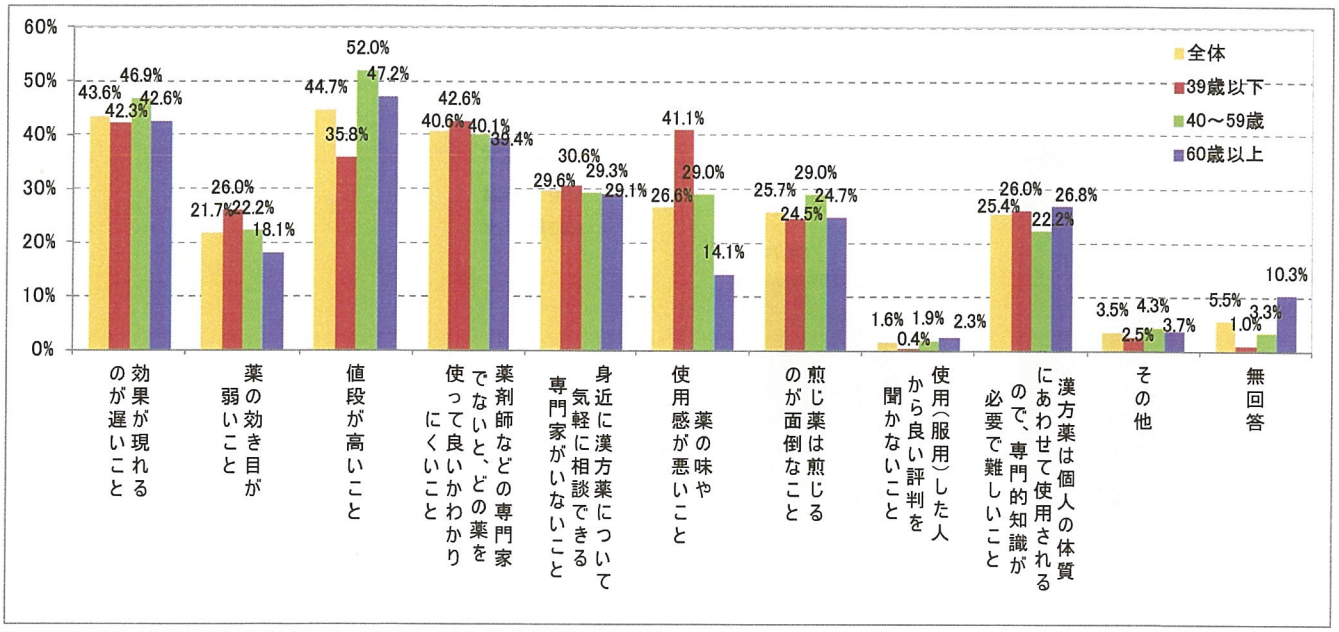
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	848	273	201	374
	比率	57.9%	57.2%	54.5%	60.4%
どちらともいえない	件数	448	142	138	168
	比率	30.6%	29.8%	37.4%	27.1%
ない	件数	146	60	26	60
	比率	10.0%	12.6%	7.0%	9.7%
無回答	件数	23	2	4	17
	比率	1.6%	0.4%	1.1%	2.7%

Q2. 漢方薬の良い点・良いイメージは何だと思いますか?



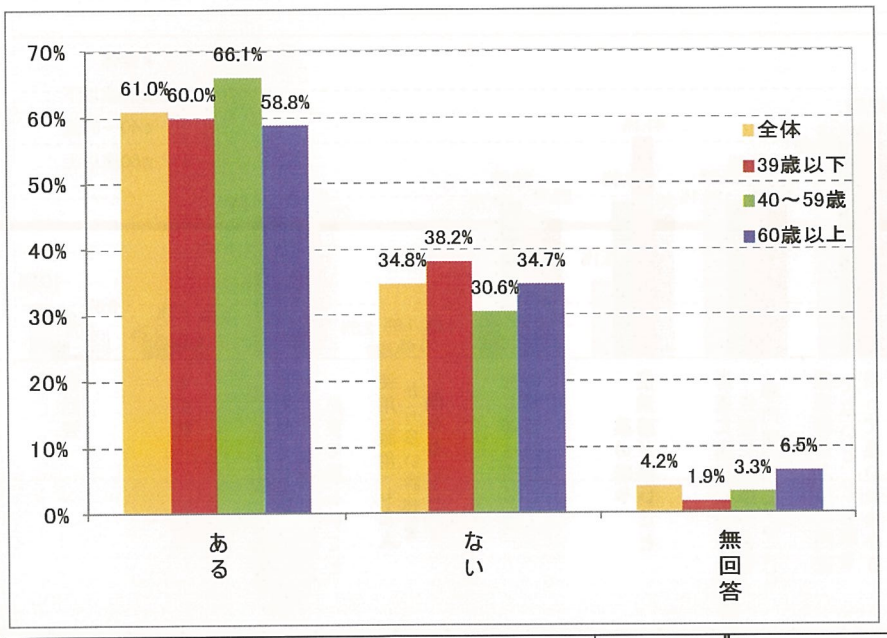
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
天然・自然の材料を使っていること	件数	937	258	265	414
	比率	64.0%	54.1%	71.8%	66.9%
比較的副作用が少ないこと	件数	764	183	220	361
	比率	52.2%	38.4%	59.6%	58.3%
薬の効き目が穏やかなこと	件数	519	119	128	272
	比率	35.4%	24.9%	34.7%	43.9%
病気を治すだけでなく、体質そのものを改善すること	件数	712	275	199	238
	比率	48.6%	57.7%	53.9%	38.4%
昔から親しんできたなじみ深い医薬品であること	件数	263	57	52	154
	比率	18.0%	11.9%	14.1%	24.9%
使用(服用)した人から良い評判を聞くこと	件数	127	29	23	75
	比率	8.7%	6.1%	6.2%	12.1%
気軽に使用できること	件数	118	31	21	66
	比率	8.1%	6.5%	5.7%	10.7%
薬の味や使用感が良いこと	件数	44	6	9	29
	比率	3.0%	1.3%	2.4%	4.7%
漢方薬は個人の体質にあわせて使用されるものであること	件数	470	134	137	199
	比率	32.1%	28.1%	37.1%	32.1%
その他	件数	39	7	4	28
	比率	2.7%	1.5%	1.1%	4.5%
無回答	件数	28	2	7	19
	比率	1.9%	0.4%	1.9%	3.1%

Q3. 漢方薬の悪い点・悪いイメージは何だと思いますか?



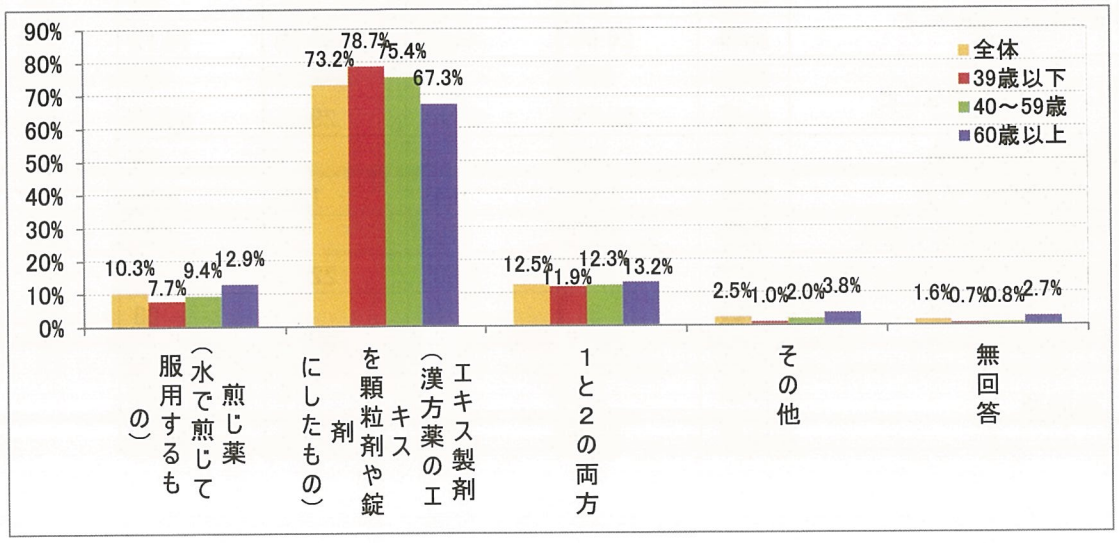
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
効果が現れるのが遅いこと	件数	639	202	173	264
	比率	43.6%	42.3%	46.9%	42.6%
薬の効き目が弱いこと	件数	318	124	82	112
	比率	21.7%	26.0%	22.2%	18.1%
値段が高いこと	件数	655	171	192	292
	比率	44.7%	35.8%	52.0%	47.2%
薬剤師などの専門家でないと、どの薬を使って良いかわかりにくいこと	件数	595	203	148	244
	比率	40.6%	42.6%	40.1%	39.4%
身近に漢方薬について気軽に相談できる専門家がいないこと	件数	434	146	108	180
	比率	29.6%	30.6%	29.3%	29.1%
薬の味や使用感が悪いこと	件数	390	196	107	87
	比率	26.6%	41.1%	29.0%	14.1%
煎じ薬は煎じるのが面倒なこと	件数	377	117	107	153
	比率	25.7%	24.5%	29.0%	24.7%
使用(服用)した人から良い評判を聞かないこと	件数	23	2	7	14
	比率	1.6%	0.4%	1.9%	2.3%
漢方薬は個人の体質にあわせて使用されるので、専門的知識が必要で難しいこと	件数	372	124	82	166
	比率	25.4%	26.0%	22.2%	26.8%
その他	件数	51	12	16	23
	比率	3.5%	2.5%	4.3%	3.7%
無回答	件数	81	5	12	64
	比率	5.5%	1.0%	3.3%	10.3%

Q4. 漢方薬を服用したり、使ったりしたことはありますか?



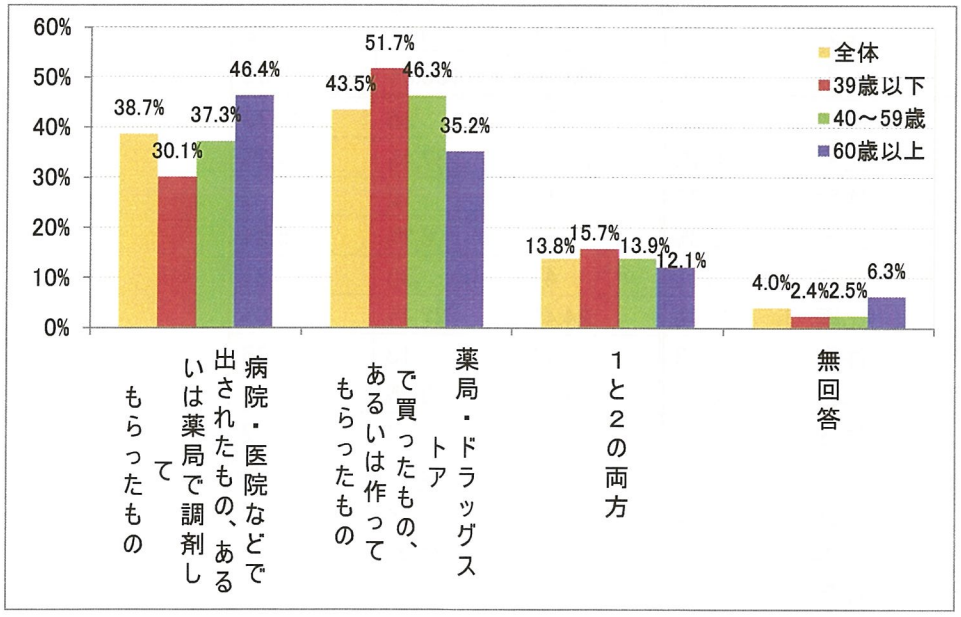
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	件数	894	286	244	364
	比率	61.0%	60.0%	66.1%	58.8%
ない	件数	510	182	113	215
	比率	34.8%	38.2%	30.6%	34.7%
無回答	件数	61	9	12	40
	比率	4.2%	1.9%	3.3%	6.5%

Q5. お使いになった漢方薬はどのようなものですか?
（Q4. 「1.ある」とお答えの方）



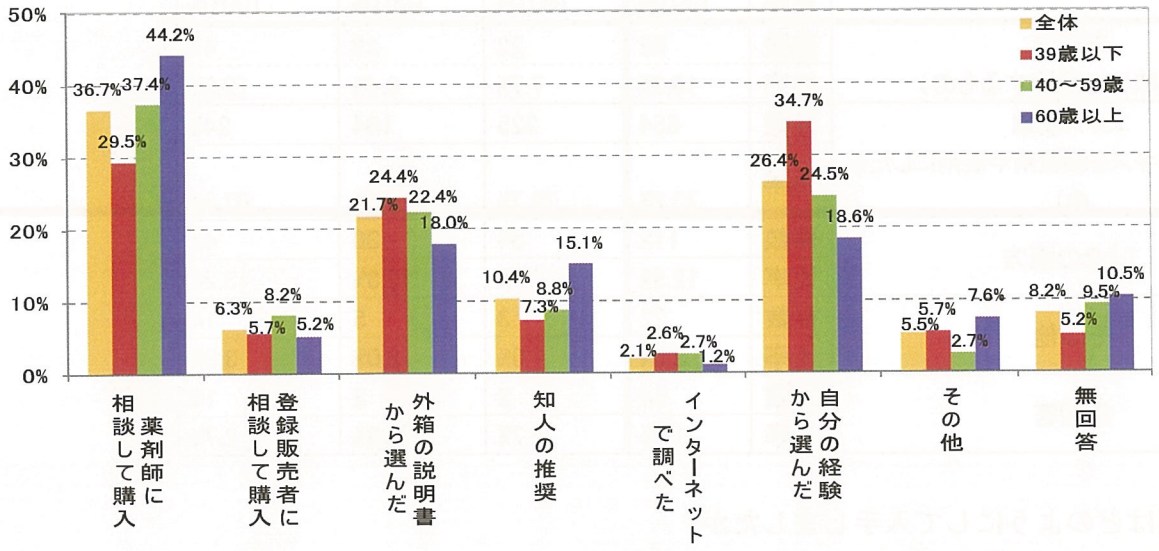
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	894	286	244	364
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
煎じ薬 （水で煎じて服用するもの）	件数	92	22	23	47
	比率	10.3%	7.7%	9.4%	12.9%
エキス製剤 （漢方薬のエキスを顆粒剤や錠剤にしたもの）	件数	654	225	184	245
	比率	73.2%	78.7%	75.4%	67.3%
1と2の両方	件数	112	34	30	48
	比率	12.5%	11.9%	12.3%	13.2%
その他	件数	22	3	5	14
	比率	2.5%	1.0%	2.0%	3.8%
無回答	件数	14	2	2	10
	比率	1.6%	0.7%	0.8%	2.7%

Q6. 漢方薬はどのようにして入手しましたか?
（Q4. 「1.ある」とお答えの方）



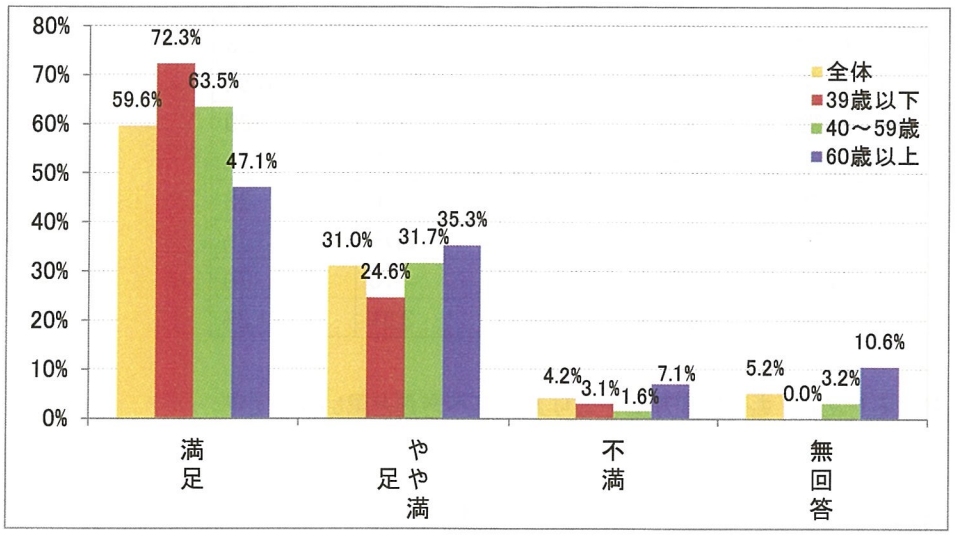
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	894	286	244	364
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
病院・医院などで出されたもの、 あるいは薬局で調剤してもらったもの	件数	346	86	91	169
	比率	38.7%	30.1%	37.3%	46.4%
薬局・ドラッグストアで買ったもの、 あるいは作ってもらったもの	件数	389	148	113	128
	比率	43.5%	51.7%	46.3%	35.2%
1と2の両方	件数	123	45	34	44
	比率	13.8%	15.7%	13.9%	12.1%
無回答	件数	36	7	6	23
	比率	4.0%	2.4%	2.5%	6.3%

Q9. 漢方薬を選定した理由は何ですか?



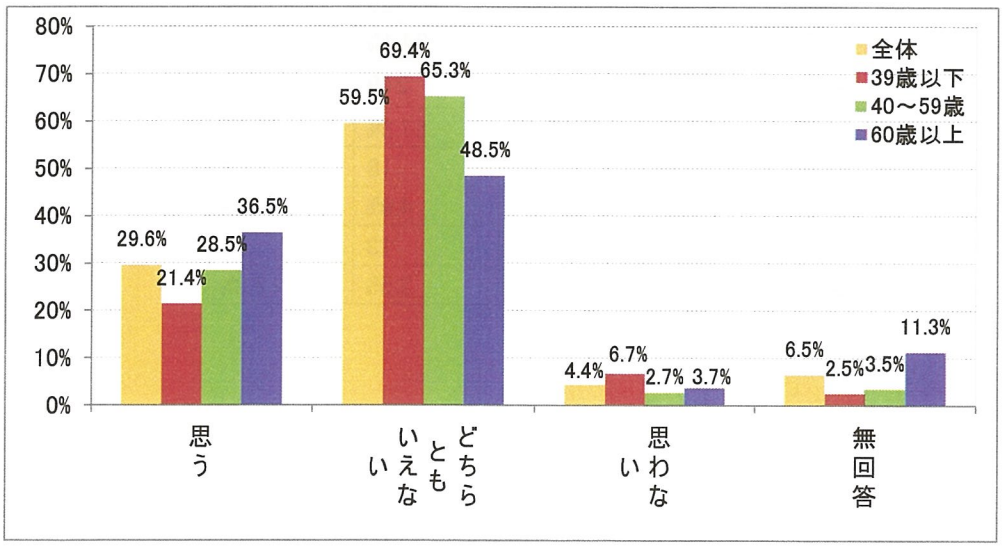
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	512	193	147	172
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
薬剤師に相談して購入	件数	188	57	55	76
	比率	36.7%	29.5%	37.4%	44.2%
登録販売者に相談して購入	件数	32	11	12	9
	比率	6.3%	5.7%	8.2%	5.2%
外箱の説明書から選んだ	件数	111	47	33	31
	比率	21.7%	24.4%	22.4%	18.0%
知人の推奨	件数	53	14	13	26
	比率	10.4%	7.3%	8.8%	15.1%
インターネットで調べた	件数	11	5	4	2
	比率	2.1%	2.6%	2.7%	1.2%
自分の経験から選んだ	件数	135	67	36	32
	比率	26.4%	34.7%	24.5%	18.6%
その他	件数	28	11	4	13
	比率	5.5%	5.7%	2.7%	7.6%
無回答	件数	42	10	14	18
	比率	8.2%	5.2%	9.5%	10.5%

Q10. 説明は満足のいくものでしたか?



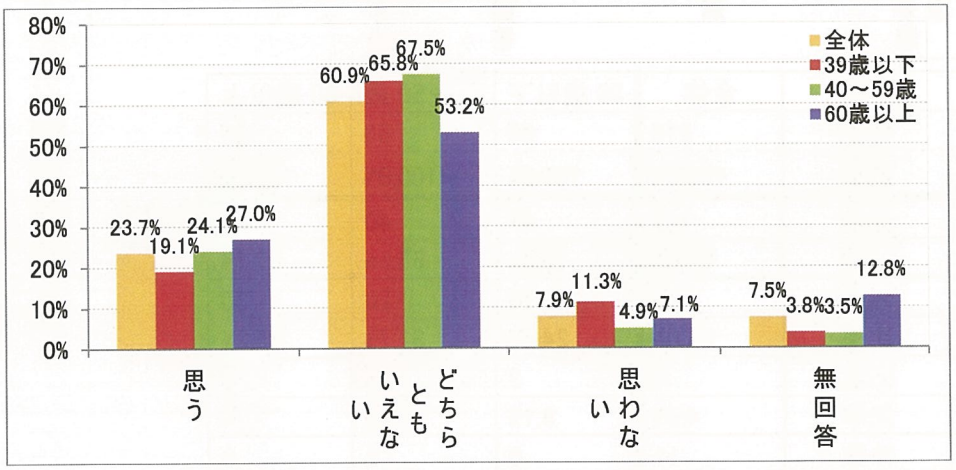
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	213	65	63	85
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
満足	件数	127	47	40	40
	比率	59.6%	72.3%	63.5%	47.1%
やや満足	件数	66	16	20	30
	比率	31.0%	24.6%	31.7%	35.3%
不満	件数	9	2	1	6
	比率	4.2%	3.1%	1.6%	7.1%
無回答	件数	11	0	2	9
	比率	5.2%	0.0%	3.2%	10.6%

Q11. 医療の場で病気の治療に、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか?



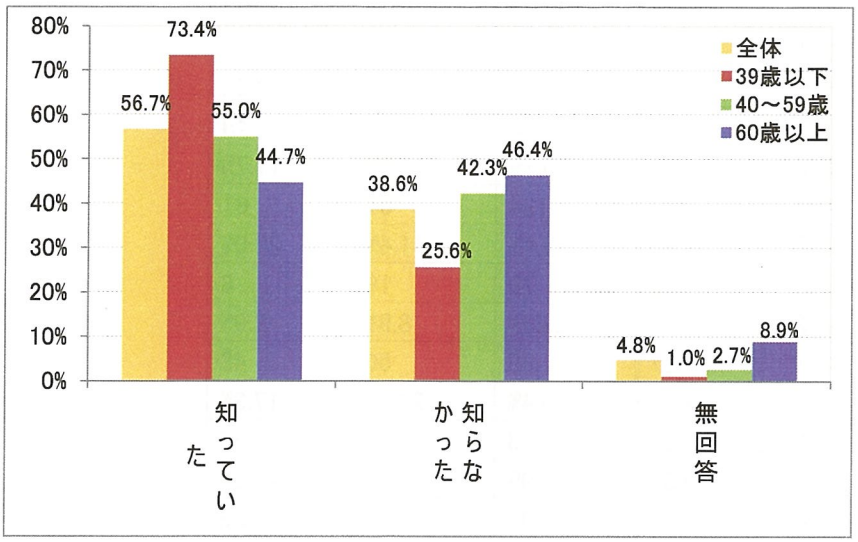
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
思う	件数	433	102	105	226
	比率	29.6%	21.4%	28.5%	36.5%
どちらともいえない	件数	872	331	241	300
	比率	59.5%	69.4%	65.3%	48.5%
思わない	件数	65	32	10	23
	比率	4.4%	6.7%	2.7%	3.7%
無回答	件数	95	12	13	70
	比率	6.5%	2.5%	3.5%	11.3%

Q12. 日常生活で、より健康を増進するために、もっと漢方薬を取り入れるべきだと思いますか?



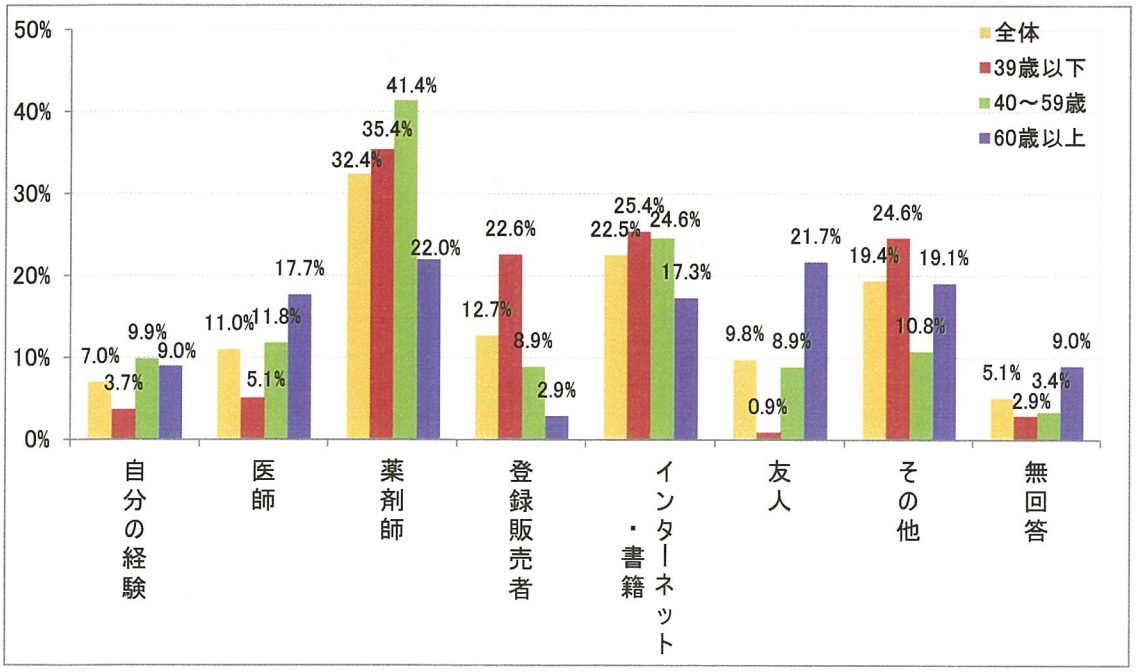
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
思う	件数	347	91	89	167
	比率	23.7%	19.1%	24.1%	27.0%
どちらともいえない	件数	892	314	249	329
	比率	60.9%	65.8%	67.5%	53.2%
思わない	件数	116	54	18	44
	比率	7.9%	11.3%	4.9%	7.1%
無回答	件数	110	18	13	79
	比率	7.5%	3.8%	3.5%	12.8%

Q13. 漢方薬にも副作用があることを知っていましたか?



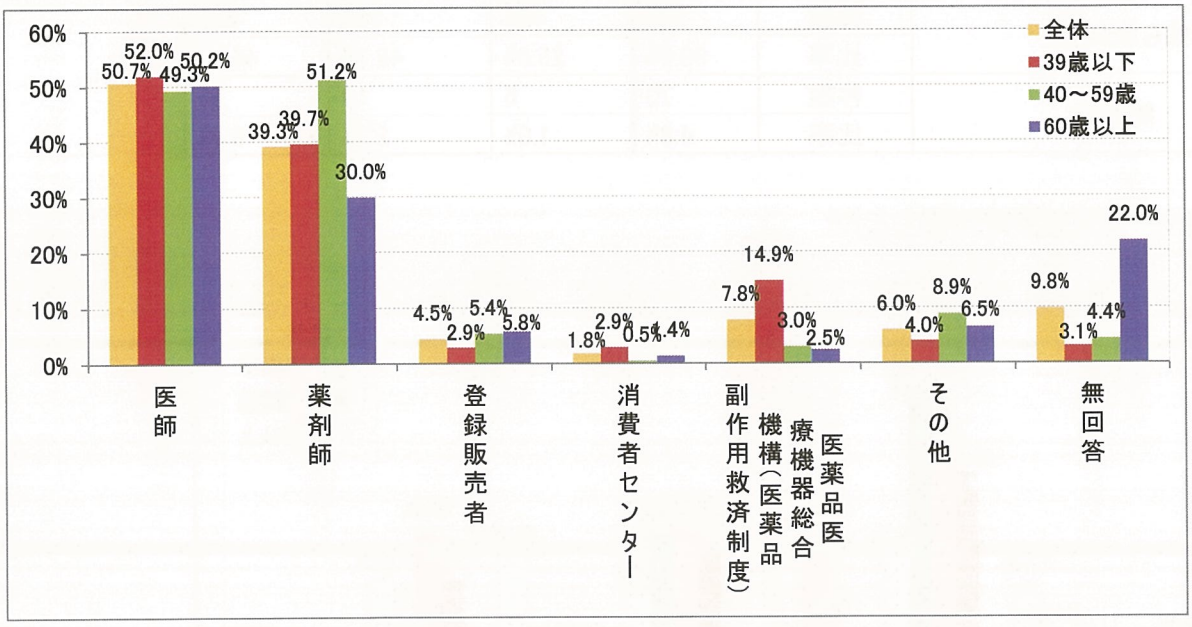
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っていた	件数	830	350	203	277
	比率	56.7%	73.4%	55.0%	44.7%
知らなかった	件数	565	122	156	287
	比率	38.6%	25.6%	42.3%	46.4%
無回答	件数	70	5	10	55
	比率	4.8%	1.0%	2.7%	8.9%

Q14. どこから副作用の情報を得ましたか?



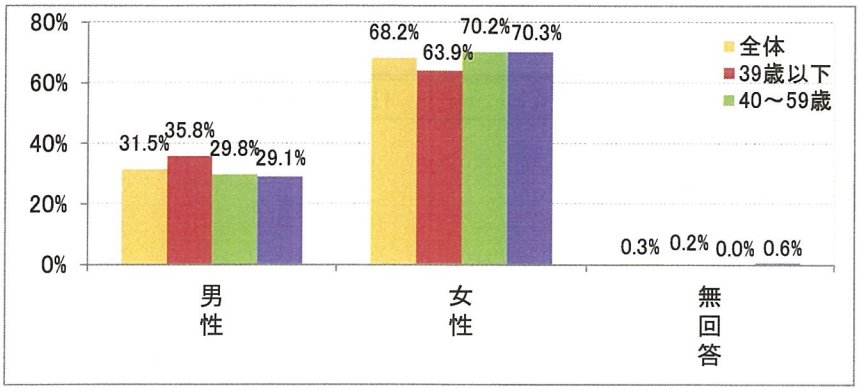
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	830	350	203	277
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
自分の経験	件数	58	13	20	25
	比率	7.0%	3.7%	9.9%	9.0%
医師	件数	91	18	24	49
	比率	11.0%	5.1%	11.8%	17.7%
薬剤師	件数	269	124	84	61
	比率	32.4%	35.4%	41.4%	22.0%
登録販売者	件数	105	79	18	8
	比率	12.7%	22.6%	8.9%	2.9%
インターネット・書籍	件数	187	89	50	48
	比率	22.5%	25.4%	24.6%	17.3%
友人	件数	81	3	18	60
	比率	9.8%	0.9%	8.9%	21.7%
その他	件数	161	86	22	53
	比率	19.4%	24.6%	10.8%	19.1%
無回答	件数	42	10	7	25
	比率	5.1%	2.9%	3.4%	9.0%

Q15. 漢方薬を服用して副作用が出たとき、どこに相談されますか?



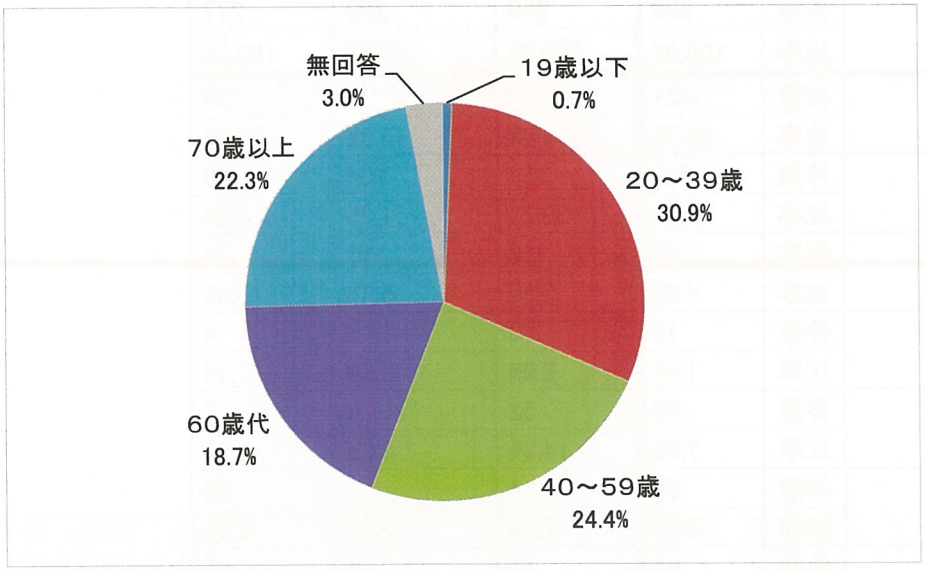
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	830	350	203	277
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
医師	件数	421	182	100	139
	比率	50.7%	52.0%	49.3%	50.2%
薬剤師	件数	326	139	104	83
	比率	39.3%	39.7%	51.2%	30.0%
登録販売者	件数	37	10	11	16
	比率	4.5%	2.9%	5.4%	5.8%
消費者センター	件数	15	10	1	4
	比率	1.8%	2.9%	0.5%	1.4%
医薬品医療機器総合機構（医薬品副作用救済制度）	件数	65	52	6	7
	比率	7.8%	14.9%	3.0%	2.5%
その他	件数	50	14	18	18
	比率	6.0%	4.0%	8.9%	6.5%
無回答	件数	81	11	9	61
	比率	9.8%	3.1%	4.4%	22.0%

Q18. 性別



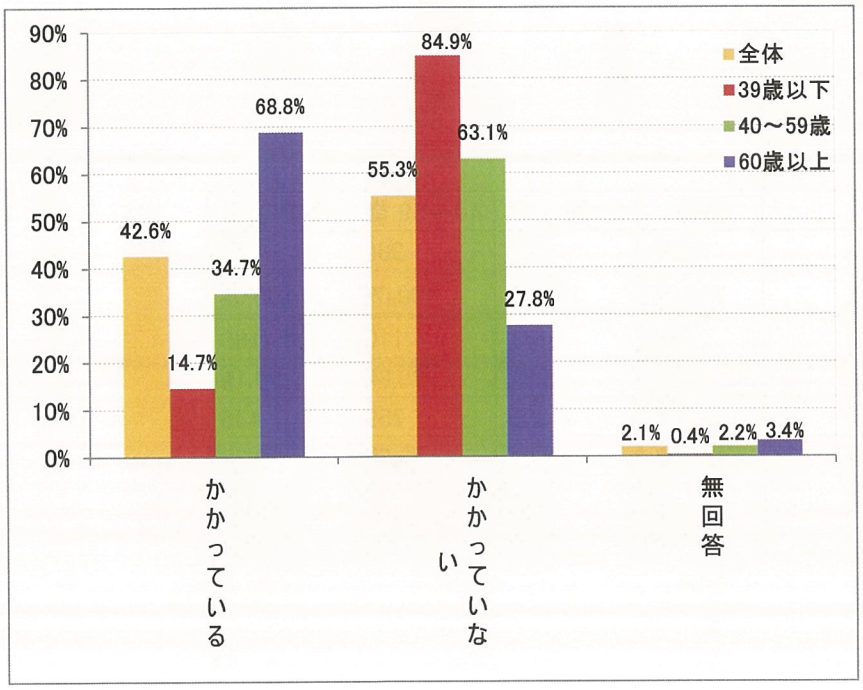
区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男性	件数	461	171	110	180
	比率	31.5%	35.8%	29.8%	29.1%
女性	件数	999	305	259	435
	比率	68.2%	63.9%	70.2%	70.3%
無回答	件数	5	1	0	4
	比率	0.3%	0.2%	0.0%	0.6%

Q19. 年齢



No.	区分	件数	比率
1	19歳以下	10	0.7%
2	20～39歳	467	30.9%
3	40～59歳	369	24.4%
4	60歳代	282	18.7%
5	70歳以上	337	22.3%
	無回答	46	3.0%
	有効回答者数	1511	100.0%

Q20. 現在、あなたは定期的に医療機関にかかっていますか?



区分		全体	39 歳以下	40～59 歳	60 歳以上
全体	件数	1465	477	369	619
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
かかっている	件数	624	70	128	426
	比率	42.6%	14.7%	34.7%	68.8%
かかっていない	件数	810	405	233	172
	比率	55.3%	84.9%	63.1%	27.8%
無回答	件数	31	2	8	21
	比率	2.1%	0.4%	2.2%	3.4%

＜今後の方針＞

神奈川県が「医療のグランドデザイン」を策定するにあたり平成24年1月に実施した県民意識調査「漢方・東洋医学について」での結果では、漢方薬を積極的に取り入れたいという回答が6割を超えていた。しかしながら、その課題として漢方と健康食品の違いや副作用のリスクについて県民の正しい知識が進んでいないと示している。

そこで今回、本委員会では県民が漢方薬についてどのように考えているのか、その問題点・課題を把握し、漢方薬を正しく理解し、適正に使用するための今後の薬剤師による活動の方向性および県民に信頼される「かかりつけ薬局」・「かかりつけ薬剤師」となる施策の検討に資するため、本調査を実施した。

本調査結果から、漢方薬は「天然・自然の材料を使っている」、「病気を治すだけでなく体質を改善する」などの良いイメージがある一方、「値段が高い」、「効果があらわれるのが遅い」そして「薬剤師などの専門家でないとどの薬を使って良いかわかりにくい」との悪いイメージが得られた。また、「医療の場における病気の治療」・「日常の健康増進のため」に漢方を取り入れるべきかの質問に対し、「どちらともいえない」との回答が多くを占めており、漢方に関する情報・知識が少ないため判断しかねているのではと推測された。

このようなことから、漢方薬についての誰にでも理解できる「やさしく」・「わかりやすい」情報が不足しており、その使い方や効果・副作用などの正しい知識が進んでいないことが示唆された。今後、状況に応じた適切な内容を盛り込んだ啓発活動を行う必要があると考える。

昨年、神奈川県では漢方薬の理解促進のため、医食農同源研究会漢方理解促進検討部会が発足した。そこでは、薬局薬剤師は、県民に予防的な部分も含めて正しい知識を持ち漢方薬と付き合っていくという情報発信が必要ではないかとの意見も聞かれている。

神奈川県薬剤師会としては、本調査結果を踏まえ、県民に「やさしく」・「わかりやすい」方法で漢方薬に興味関心を喚起する啓発活動を図り、予防的な部分まで含めて漢方薬の理解を促進するため、薬局薬剤師による県民への活動を積極的に支援する事が重要と考える。

神奈川県薬剤師会　医薬品適正使用啓発事業　医薬品適正使用調査委員会

（敬称略　順不同）

東京薬科大学　教授　渡辺　謹三
日本チェーンドラッグストア協会　副会長　小田　兵馬
特定非営利活動法人　神奈川県消費者の会連絡会　代表理事　今井　澄江
神奈川県病院薬剤師会　理事　金丸　茂樹
神奈川県薬剤師会　副会長　竹ノ内　敏孝
神奈川県薬剤師会　常務理事　鵜飼　典男
神奈川県薬剤師会　理事　坂本　悟

協　力　　神奈川県保健福祉局生活衛生部薬務課